

4. 観光施策の重要度・達成度

本項では、沖縄観光の施策に関する42個の項目について、それぞれ重要と考える程度及び達成できていると考える程度を調査し、県民にとっての沖縄観光施策の重要度と達成度を整理した。

(1) 沖縄観光の各施策に対する重要度

Q4 ① 次にあげる事項は、沖縄の観光にとって重要だと思いますか。

- “非常に重要である”と回答した割合の上位5項目は、「県民や観光客が渋滞に巻き込まれずに目的地まで円滑に移動できること (56.3%)」、「沖縄の豊かな自然環境に配慮し、環境と共生した持続可能な観光が推進されていること (53.5%)」、「観光客が、不慣れな道路環境等の理由によるレンタカーでの交通事故発生等のトラブル防止の対策がとられていること (49.1%)」、「文化・芸能・世界遺産などの魅力ある沖縄文化が、保全・継承され、観光資源として広く活用されていること (47.0%)」、「空港機能が強化されることにより、国内外の航空路線の拡充が行われ、県民や観光客の交通の便が良くなること (46.5%)」、であった。
- 前回調査と比べ、「円滑な移動」「交通事故発生等のトラブル防止対策」が大きく順位を上げて、前々回調査(2019年度)に近い順位構成となった。一方、前回調査で上位3位であった「空手の発信、愛好家の訪問」は選択率が大きく減少した(47.9%から28.0%へ減少)。
- 地域別にみると、“北部”“中部”“那覇市”“南部”では「円滑な移動」、「宮古」「八重山」では前回調査に引き続き「環境と共生した持続可能な観光」が1位となった。各地域の上位5項目は以下の通り。

	北部	中部	那覇市	南部	宮古	八重山
1位	・円滑な移動 (第6位)	・円滑な移動 (第2位)	・円滑な移動 (第2位)	・円滑な移動 (第5位)	・環境と共生した持続可能な観光(第1位)	・環境と共生した持続可能な観光(第1位)
2位	・環境と共生した持続可能な観光(第1位)	・環境と共生した持続可能な観光(第1位)	・環境と共生した持続可能な観光(第1位)	・環境と共生した持続可能な観光(第1位)	・交通事故等のトラブル防止対策(第5位)	・沖縄らしい景観形成(第2位)
3位	・交通事故等のトラブル防止対策(第4位)	・交通事故等のトラブル防止対策(第4位)	・沖縄文化の保全・継承・活用(第3位)	・交通利便性の向上(第6位)	・沖縄文化の保全・継承・活用(第3位)	・沖縄文化の保全・継承・活用(第3位)
4位	・誰もが快適に過ごせる環境整備(第7位)	・誰もが快適に過ごせる環境整備(第5位)	・交通利便性の向上(第7位)	・交通事故等のトラブル防止対策(第3位)	・円滑な移動(第7位)	・交通事故等のトラブル防止対策(第9位)
5位	・沖縄文化の保全・継承・活用(第2位)	・沖縄らしい景観形成(第6位)	・沖縄らしい景観形成(第5位)	・沖縄文化の保全・継承・活用(第2位)	・沖縄らしい景観形成(第4位)	・円滑な移動(第13位)

※括弧内は前回調査の順位

- 性別にみると、男女間で重要視する項目は大きくは変わらないものの、項目によっては選択率に差がみられ、「交通事故発生等のトラブル防止対策」「誰もが快適に過ごせる環境整備」「風評被害対策」は“女性”のほうが5ポイント以上高い。
- 年代別にみると、10代～30代では「円滑な移動」、40代以上では前回調査に引き続き「環境と共生した持続可能な観光」が1位となった。各地域の上位3項目は以下の通り。

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代
1位	・円滑な移動 ・多言語対応	・円滑な移動	・円滑な移動	・環境と共生した持続可能な観光	・環境と共生した持続可能な観光	・環境と共生した持続可能な観光	・環境と共生した持続可能な観光
2位	-	・誰もが快適に過ごせる環境整備	・環境と共生した持続可能な観光	・円滑な移動	・円滑な移動	・円滑な移動	・円滑な移動
3位	・沖縄らしい景観形成	・交通利便性の向上	・消費しやすい環境整備	・沖縄文化の保全・継承・活用	・交通事故等のトラブル防止対策	・沖縄文化の保全・継承・活用	・交通利便性の向上

- 観光客と接する機会別では、上位項目の傾向に大きな違いはみられない。

図表 4-1-1 沖縄観光の各施策に対する重要度

	(%)							重要度 得点
	非常に 重要	ある程度 重要	どちらとも いえない	あまり 重要で ない	全く 重要で ない	無回答		
15 県民や観光客が渋滞に巻き込まれずに目的地まで円滑に移動できること	56.3	25.7	14.4	1.6	1.1	0.9	4.36	
1 沖縄の豊かな自然環境に配慮し、環境と共生した持続可能な観光が推進されていること	53.5	31.2	12.7	1.2	1.0	0.4	4.35	
16 観光客が、不慣れな道路環境等の理由によるレンタカーでの交通事故発生等のトラブル防止の対策がとられていること	49.1	30.6	16.3	2.2	0.9	0.9	4.26	
2 文化・芸能・世界遺産などの魅力ある沖縄文化が、保全・継承され、観光資源として広く活用されていること	47.0	35.7	14.0	1.9	1.0	0.3	4.26	
11 空港機能が強化されることにより、国内外の航空路線の拡充が行われ、県民や観光客の交通の便が良くなること	46.5	33.6	15.7	2.7	1.1	0.4	4.22	
4 県内各地域の特性を踏まえた沖縄らしい風景や町並みが適切に保全され、良好な景観が形成されていること	46.3	35.5	15.7	1.1	1.0	0.4	4.26	
25 高齢であることや障害の有無などにかかわらず、県民、観光客誰もが快適に過ごせる環境が整っていること	45.5	33.0	17.8	1.9	1.1	0.7	4.21	
14 決済手段が多様で、観光客が消費しやすい環境が整備されていること（クレジットカード決済、モバイル決済等）	42.0	32.7	20.8	2.4	1.8	0.3	4.11	
26 地震、津波等大規模災害や根拠の乏しい情報を起因とする風評被害への対応方針が整っていること	41.9	33.0	20.8	2.2	1.4	0.7	4.13	
27 観光客の県内消費額を向上するため、沖縄独自の魅力を活かした商品・サービスが増えること	41.7	37.3	17.6	1.6	1.1	0.7	4.18	
17 観光情報を入力できる観光案内所や観光案内板等が多言語対応で整備されていること	39.7	38.2	17.8	2.2	1.3	0.8	4.14	
30 年間を通して観光収入を安定的に確保するため、閑散期の誘客に取り組むこと	38.8	36.8	19.5	2.8	1.7	0.5	4.09	
18 観光客が無料Wi-Fiに接続出来る環境があること	36.1	35.5	20.8	4.5	2.4	0.6	3.99	
5 温暖な気候を活かして、野球やサッカーなど各種キャンプ・大会が盛んに行われていること	35.2	38.9	19.6	3.4	2.4	0.4	4.01	
28 外国人観光客の県内消費額を向上するため、日本ブランドの魅力を活かした商品・サービスが増えること	34.8	38.2	22.1	2.7	1.6	0.7	4.03	
7 国内外の学生、生徒、教育関係者などが教育旅行で沖縄を訪れていること	34.6	40.9	19.0	3.9	1.2	0.3	4.04	
23 今後の沖縄観光の持続的な振興を担う高度な経営人材を育成し、多様化・高度化する観光客のニーズに対応できていること	34.3	40.3	20.9	2.4	1.2	0.9	4.05	
29 観光客の県内消費額を向上するため、滞在日数が向上するような取組を実施すること	33.8	37.2	23.9	3.1	1.5	0.5	3.99	
19 県内離島への観光が促進されていること	33.4	40.2	22.4	1.9	1.4	0.6	4.03	
33 国内外の富裕層の誘客に取り組むこと	33.0	32.3	26.0	5.3	2.7	0.7	3.88	
31 沖縄観光の高度化、国際化等の変化に対応するため、これまで以上にきめ細かいデータの収集と分析について取り組むこと	32.7	40.5	22.5	2.4	1.3	0.7	4.02	
40 観光産業がもたらす県経済への波及効果などを県民にわかり易く発信し、観光の意義や効果について県民の理解を促進すること	32.5	40.9	22.8	2.0	1.3	0.5	4.02	
32 国内の沖縄旅行未経験者の誘客に取り組むこと	32.4	38.5	22.9	3.9	1.9	0.5	3.96	
10 各地域において、その地域の特徴を活かした観光誘客活動が行われていること	32.1	41.4	22.2	2.4	1.3	0.7	4.01	
8 ウェディング、ショッピング、ダイビング、健康保養、卒業記念等、多種多様な目的も兼ねながら観光客が沖縄を訪れていること	32.0	42.3	20.1	3.9	1.4	0.3	4.00	
21 外国人観光客への対応能力を向上するため、外国語に長けた人材や語学力など専門的な知識や技術を有する外国人が観光産業に従事していること	31.7	42.3	20.2	3.7	1.5	0.7	4.00	
24 県民がホスピタリティ（人への直接的なもてなしの精神のみならず、町の清掃活動等も含む）にあふれていること	31.6	40.3	22.1	3.5	1.6	1.0	3.98	
41 次世代を担う県内の児童生徒に対し観光産業の重要性について理解を深めること	31.0	41.2	22.9	2.8	1.6	0.5	3.98	
22 観光従事者一人ひとりが沖縄観光を代表する存在として、観光客に責任を持って対応できていること	31.0	41.7	21.3	3.5	1.8	0.7	3.97	
37 沖縄の優位性を活かし、競合地との差別化を図るため、沖縄観光ブランド「Be.Okinawa」を国内外に発信すること	30.3	38.2	25.1	3.3	2.2	0.7	3.92	
20 宿泊施設について客室単価の向上を図りながら、沖縄全体の宿泊供給量が増加していくこと	30.3	39.7	24.5	3.1	1.8	0.7	3.94	
42 入域観光客数の目標設定など、客観指標に基づいた政策決定が行われていること	30.3	40.9	24.5	2.4	1.4	0.5	3.97	
38 海外市場において効果的な誘客活動を行うため、海外メディアやウェブサイト・SNS等を通じた情報発信、ロゴ作品を通じたプロモーション、海外事務所と連携した誘客活動等に取り組むこと	30.2	38.5	26.0	2.7	1.8	0.8	3.93	
12 クルーズ船の寄港に対応する港湾施設の機能が強化され、クルーズ船による観光客が更に増えること	28.9	35.2	26.6	6.3	2.5	0.4	3.82	
13 クルーズ船の寄港先が分散され、バス、タクシー等が一部地域に集中することによる負荷の低減や、観光地の分散化等が図られていること	28.9	38.4	26.0	4.1	2.2	0.3	3.88	
9 MICEを国内外から呼び込み、多くの方が沖縄を訪れていること	28.1	41.0	25.7	3.7	1.1	0.4	3.92	
35 一部直行便が就航した東南アジア地域（タイ、シンガポール、マレーシア、インドネシア、フィリピン、ベトナム等）からの航空路線の安定化と拡充に積極的に取り組み、誘客を強化すること	28.1	35.7	27.1	5.0	3.2	1.0	3.81	
3 「空手発祥の地・沖縄」を世界に発信し、世界中の空手愛好家が沖縄を訪れていること	28.0	38.9	24.2	5.9	2.6	0.4	3.84	
39 観光関係者間、地域間、他分野間などの協働の場づくりを推進すること	27.9	43.1	24.2	2.8	1.4	0.5	3.94	
36 旅行市場が成熟し長期滞在が期待できる欧米等のリゾート需要を取り込むこと	27.6	35.9	28.7	4.4	2.3	1.0	3.83	
34 直行便が就航している東アジア地域（台湾、韓国、中国本土、香港）の誘客を拡大すること	27.5	34.8	27.8	5.5	3.9	0.6	3.77	
6 サッカーやバスケットボールなどの地元チームを活用し、県民と観光客が一体となって楽しんでいること	26.1	40.9	24.9	5.7	2.0	0.4	3.84	

※重要度得点：「非常に重要である」＝5点、「ある程度重要である」＝4点、「どちらともいえない」＝3点、「あまり重要でない」＝2点、「全く重要でない」＝1点とした場合の平均得点。

図表 4-1-2 沖縄観光の各施策に対する“非常に重要”率（年度別）

		(%)			
		全体	2022年度	2021年度	2019年度
15	県民や観光客が渋滞に巻き込まれずに目的地まで円滑に移動できること	56.3	56.3	35.1	61.7
1	沖縄の豊かな自然環境に配慮し、環境と共生した持続可能な観光が推進されていること	53.5	53.5	56.1	52.9
16	観光客が、不慣れな道路環境等の理由によるレンタカーでの交通事故発生等のトラブル防止の対策がとられていること	49.1	49.1	34.5	62.2
2	文化・芸能・世界遺産などの魅力ある沖縄文化が、保全・継承され、観光資源として広く活用されていること	47.0	47.0	50.1	49.3
11	空港機能が強化されることにより、国内外の航空路線の拡充が行われ、県民や観光客の交通の便が良くなること	46.5	46.5	37.4	49.2
4	県内各地域の特性を踏まえた沖縄らしい風景や町並みが適切に保全され、良好な景観が形成されていること	46.3	46.3	47.4	45.5
25	高齢であることや障害の有無などにかかわらず、県民、観光客誰もが快適に過ごせる環境が整っていること	45.5	45.5	32.4	48.3
14	決済手段が多様で、観光客が消費しやすい環境が整備されていること（クレジットカード決済、モバイル決済等）	42.0	42.0	35.1	37.2
26	地震、津波等大規模災害や根拠の乏しい情報を起因とする風評被害への対応方針が整っていること	41.9	41.9	32.3	48.7
27	観光客の県内消費額を向上するため、沖縄独自の魅力を活かした商品・サービスが増えること	41.7	41.7	32.3	44.2
17	観光情報を入手できる観光案内所や観光案内板等が多言語対応で整備されていること	39.7	39.7	34.0	51.0
30	年間を通して観光収入を安定的に確保するため、閑散期の誘客に取り組むこと	38.8	38.8	31.4	36.6
18	観光客が無料W i - F i に接続出来る環境があること	36.1	36.1	33.6	44.0
5	温暖な気候等を活かして、野球やサッカーなど各種キャンプ・大会が盛んに行われていること	35.2	35.2	46.4	43.2
28	外国人観光客の県内消費額を向上するため、日本ブランドの魅力を活かした商品・サービスが増えること	34.8	34.8	31.7	39.4
7	国内外の学生、生徒、教育関係者などが教育旅行で沖縄を訪れていること	34.6	34.6	43.4	38.4
23	今後の沖縄観光の持続的な振興を担う高度な経営人材を育成し、多様化・高度化する観光客のニーズに対応できていること	34.3	34.3	32.4	35.3
29	観光客の県内消費額を向上するため、滞在日数を向上するような取組を実施すること	33.8	33.8	31.6	29.9
19	県内離島への観光が促進されていること	33.4	33.4	33.5	35.7
33	国内外の高所得層の誘客に取り組むこと	33.0	33.0	30.2	31.1
31	沖縄観光の高度化、国際化等の変化に対応するため、これまで以上にきめ細かいデータの収集と分析について取り組むこと	32.7	32.7	30.9	29.9
40	観光産業がもたらす県経済への波及効果などを県民にわかりやすく発信し、観光の意義や効果について県民の理解を促進すること	32.5	32.5	27.8	29.7
32	国内の沖縄旅行未経験者の誘客に取り組むこと	32.4	32.4	30.5	34.3
10	各地域において、その地域の特色を活かした観光誘客活動が行われていること	32.1	32.1	39.6	31.8
8	ウェディング、ショッピング、ダイビング、健康保養、卒業記念等、多種多様な目的も兼ねながら観光客が沖縄を訪れていること	32.0	32.0	43.3	37.1
21	外国人観光客への対応能力を向上するため、外国語に長けた人材や語学力など専門的な知識や技術を有する外国人が観光産業に従事していること	31.7	31.7	32.9	35.9
24	県民がホスピタリティ（人への直接的なもてなしの精神のみならず、町の清掃活動等も含む）にあふれていること	31.6	31.6	32.4	35.8
41	次世代を担う県内の児童生徒に対し観光産業の重要性について理解を深めること	31.0	31.0	26.8	29.0
22	観光従事者一人ひとりが沖縄観光を代表する存在として、観光客に責任を持って対応できていること	31.0	31.0	32.8	33.2
37	沖縄の優位性を活かし、競合地との差別化を図るため、沖縄観光ブランド「Be.Okinawa」を国内外に発信すること	30.3	30.3	28.4	24.5
20	宿泊施設について客室単価の向上を図りながら、沖縄全体の宿泊供給量が増加していくこと	30.3	30.3	33.1	29.7
42	入域観光客数の目標設定など、客観指標に基づいた政策決定が行われていること	30.3	30.3	24.1	24.1
38	海外市場において効果的な誘客活動を行うため、海外メディアやウェブサイト・SNS等を通じた情報発信、ロゴ作品を通じたプロモーション、海外事務所と連携した誘客活動等に取り組むこと	30.2	30.2	28.4	22.7
12	クルーズ船の寄港に対応する港湾施設の機能が強化され、クルーズ船による観光客が更に増えること	28.9	28.9	37.4	32.6
13	クルーズ船の寄港先が分散され、バス、タクシー等が一部地域に集中することによる負荷の低減や、観光地の分散化等が図られていること	28.9	28.9	37.1	33.4
9	M I C Eを国内外から呼び込み、多くの方が沖縄を訪れていること	28.1	28.1	40.3	31.7
35	一部直行便が就航した東南アジア地域（タイ、シンガポール、マレーシア、インドネシア、フィリピン、ベトナム等）からの航空路線の安定化と拡充に積極的に取り組み、誘客を強化すること	28.1	28.1	29.9	24.0
3	「空手発祥の地・沖縄」を世界に発信し、世界中の空手愛好家が沖縄を訪れていること	28.0	28.0	47.9	39.9
39	観光関係者間、地域間、他分野間などの協働の場づくりを推進すること	27.9	27.9	27.8	23.2
36	旅行市場が成熟し長期滞在が期待できる欧米等のリゾート需要を取り込むこと	27.6	27.6	29.0	22.3
34	直行便が就航している東アジア地域（台湾、韓国、中国本土、香港）の誘客を拡大すること	27.5	27.5	30.1	25.0
6	サッカーやバスケットボールなどの地元チームを活用し、県民と観光客が一体となって楽しんでいること	26.1	26.1	44.3	36.8

図表 4-1-3 沖縄観光の各施策に対する“非常に重要”率（地域別）【2022 年度】

		(%)					
		北部	中部	那覇市	南部	宮古	八重山
15	県民や観光客が渋滞に巻き込まれずに目的地まで円滑に移動できること	57.5	59.5	53.5	57.3	34.9	47.7
1	沖縄の豊かな自然環境に配慮し、環境と共生した持続可能な観光が推進されていること	44.9	54.9	52.5	53.9	47.7	66.3
16	観光客が、不慣れな道路環境等の理由によるレンタカーでの交通事故発生等のトラブル防止の対策がとられていること	43.0	52.2	46.4	49.1	41.5	51.4
2	文化・芸能・世界遺産などの魅力ある沖縄文化が、保全・継承され、観光資源として広く活用されていること	40.6	48.1	48.4	46.9	35.0	54.2
11	空港機能が強化されることにより、国内外の航空路線の拡充が行われ、県民や観光客の交通の便が良くなること	38.7	46.8	47.5	51.6	32.5	43.5
4	県内各地域の特性を踏まえた沖縄らしい風景や町並みが適切に保全され、良好な景観が形成されていること	37.3	48.8	46.6	44.4	32.5	60.1
25	高齢であることや障害の有無などにかかわらず、県民、観光客誰もが快適に過ごせる環境が整っていること	41.1	49.9	45.8	40.1	28.1	47.3
14	決済手段が多様で、観光客が消費しやすい環境が整備されていること（クレジットカード決済、モバイル決済等）	32.8	46.0	41.9	42.4	21.0	35.1
26	地震、津波等大規模災害や根拠の乏しい情報を起因とする風評被害への対応方針が整っていること	38.1	43.8	41.0	43.0	27.3	44.1
27	観光客の県内消費額を向上するため、沖縄独自の魅力を活かした商品・サービスが増えること	31.9	46.9	37.7	42.0	25.5	42.5
17	観光情報を入手できる観光案内所や観光案内板等が多言語対応で整備されていること	33.1	45.1	38.5	35.0	27.2	34.8
30	年間を通して観光収入を安定的に確保するため、閑散期の誘客に取り組むこと	33.9	43.2	38.9	33.6	23.4	40.8
18	観光客が無料Wi-Fiに接続出来る環境があること	28.3	40.9	34.6	33.0	27.9	31.9
5	温暖な気候等を活かして、野球やサッカーなど各種キャンプ・大会が盛んに行われていること	33.3	37.2	37.5	31.5	21.7	34.7
28	外国人観光客の県内消費額を向上するため、日本ブランドの魅力を活かした商品・サービスが増えること	24.1	39.1	34.9	31.7	23.1	36.4
7	国内外の学生、生徒、教育関係者などが教育旅行で沖縄を訪れていること	29.4	38.3	33.2	32.8	25.7	29.7
23	今後の沖縄観光の持続的な振興を担う高度な経営人材を育成し、多様化・高度化する観光客のニーズに対応できていること	30.1	36.9	37.3	29.4	20.5	34.3
29	観光客の県内消費額を向上するため、滞在日数が向上するような取組を実施すること	25.7	36.7	38.4	28.4	23.2	27.7
19	県内離島への観光が促進されていること	24.0	37.0	34.8	29.5	20.0	38.2
33	国内外の富裕層の誘客に取り組むこと	22.2	37.5	33.6	29.8	23.6	27.3
31	沖縄観光の高度化、国際化等の変化に対応するため、これまで以上にきめ細かいデータの収集と分析について取り組むこと	27.3	36.5	33.7	27.2	23.0	31.9
40	観光産業がもたらす県経済への波及効果などを県民にわかり易く発信し、観光の意義や効果について県民の理解を促進すること	24.3	38.5	29.7	28.2	22.8	29.7
32	国内の沖縄旅行未経験者の誘客に取り組むこと	31.4	35.7	30.9	29.9	22.3	28.1
10	各地域において、その地域の特徴を活かした観光誘客活動が行われていること	29.4	36.0	32.1	26.7	17.4	34.4
8	ウェディング、ショッピング、タイピング、健康保養、卒業記念等、多種多様な目的も兼ねながら観光客が沖縄を訪れていること	25.9	37.0	32.1	26.8	17.5	28.5
21	外国人観光客への対応能力を向上するため、外国語に長けた人材や語学力など専門的な知識や技術を有する外国人が観光産業に従事していること	25.5	34.2	36.2	26.6	16.5	30.7
24	県民がホスピタリティ（人への直接的なもてなしの精神のみならず、町の清掃活動等も含む）にあふれていること	23.3	34.6	31.1	30.1	27.0	30.7
41	次世代を担う県内の児童生徒に対し観光産業の重要性について理解を深めること	28.6	34.8	29.8	28.8	16.2	25.4
22	観光従事者一人ひとりが沖縄観光を代表する存在として、観光客に責任を持って対応できていること	26.4	32.8	35.8	26.2	18.5	28.9
37	沖縄の優位性を活かし、競合地との差別化を図るため、沖縄観光ブランド「Be.Okinawa」を国内外に発信すること	23.6	33.1	31.7	27.7	22.5	25.9
20	宿泊施設について客室単価の向上を図りながら、沖縄全体の宿泊供給量が増加していくこと	24.0	33.1	32.8	27.2	17.8	25.5
42	入域観光客数の目標設定など、客観指標に基づいた政策決定が行われていること	25.1	35.7	29.6	25.0	12.1	27.1
38	海外市場において効果的な誘客活動を行うため、海外メディアやウェブサイト・SNS等を通じた情報発信、ロケ作品を通じたプロモーション、海外事務所と連携した誘客活動等に取り組むこと	20.9	34.5	31.2	26.6	19.4	24.9
12	クルーズ船の寄港に対応する港湾施設の機能が強化され、クルーズ船による観光客が更に増えること	24.2	32.6	32.0	22.3	14.9	26.6
13	クルーズ船の寄港先が分散され、バス、タクシー等が一部地域に集中することによる負荷の低減や、観光地の分散化等が図られていること	25.5	31.3	31.1	25.4	18.0	25.7
9	MICEを国内外から呼び込み、多くの方が沖縄を訪れていること	22.3	32.3	27.4	23.9	20.3	25.9
35	一部直行便が就航した東南アジア地域（タイ、シンガポール、マレーシア、インドネシア、フィリピン、 베트남等）からの航空路線の安定化と拡充に積極的に取り組み、誘客を強化すること	24.9	32.1	27.2	25.3	15.2	20.6
3	「空手発祥の地・沖縄」を世界に発信し、世界中の空手愛好家が沖縄を訪れていること	28.0	29.8	30.4	24.5	23.2	14.7
39	観光関係者間、地域間、他分野間などの協働の場づくりを推進すること	17.1	31.8	28.0	26.3	14.7	28.8
36	旅行市場が成熟し長期滞在が期待できる欧米等のリゾート需要を取り込むこと	21.6	31.9	28.7	23.0	11.0	23.9
34	直行便が就航している東アジア地域（台湾、韓国、中国本土、香港）の誘客を拡大すること	24.7	31.4	27.1	24.2	12.6	23.0
6	サッカーやバスケットボールなどの地元チームを活用し、県民と観光客が一体となって楽しんでいること	27.0	30.0	24.1	23.4	4.0	25.9

図表 4-1-4 沖縄観光の各施策に対する“非常に重要”率（地域別）【2021年度】

	(%)					
	北部	中部	那覇市	南部	宮古	八重山
1 沖縄の豊かな自然環境に配慮し、環境と共生した持続可能な観光が推進されていること	52.1	55.8	51.3	57.8	66.6	76.7
2 文化・芸能・世界遺産などの魅力ある沖縄文化が、保全・継承され、観光資源として広く活用されていること	48.4	49.5	47.6	51.5	56.0	61.8
15 県民や観光客が渋滞に巻き込まれずに目的地まで円滑に移動できること	39.2	49.7	50.2	45.5	48.8	44.1
16 観光客が、不慣れな道路環境等の理由によるレンタカーでの交通事故発生等のトラブル防止の対策がとられていること	40.0	48.6	47.0	47.7	51.6	46.7
4 県内各地域の特色を踏まえた沖縄らしい風景や町並みが適切に保全され、良好な景観が形成されていること	39.9	45.6	45.7	46.8	52.7	67.5
25 高齢であることや障害の有無などにかかわらず、県民、観光客誰もが快適に過ごせる環境が整っていること	38.4	46.0	44.3	40.1	44.5	57.8
26 地震、津波等大規模災害や根拠の乏しい情報を起因とする風評被害への対応方針が整っていること	44.8	43.9	40.3	39.1	64.3	53.6
11 空港機能が強化されることにより、国内外の航空路線の拡充が行われ、県民や観光客の交通の便が良くなること	37.9	43.6	43.9	42.6	40.2	54.3
27 観光客の県内消費額を向上するため、沖縄独自の魅力を活かした商品・サービスが増えること	30.6	41.8	39.5	38.1	50.5	50.0
14 決済手段が多様で、観光客が消費しやすい環境が整備されていること（クレジットカード決済、モバイル決済等）	33.7	41.6	39.9	37.6	35.2	43.3
7 国内外の学生、生徒、教育関係者などが教育旅行で沖縄を訪れていること	33.4	38.6	38.1	36.8	35.0	34.3
30 年間を通して観光収入を安定的に確保するため、閑散期の誘客に取り組むこと	33.1	37.2	38.0	38.1	29.7	48.9
17 観光情報を入力できる観光案内所や観光案内板等が多言語対応で整備されていること	34.2	40.4	37.3	33.1	19.4	41.9
18 観光客が無料Wi-Fiに接続出来る環境があること	33.5	37.6	35.2	32.0	24.5	36.3
23 今後の沖縄観光の持続的な振興を担う高度な経営人材を育成し、多様化・高度化する観光客のニーズに対応できていること	27.5	36.5	37.9	30.8	38.2	36.8
5 温暖な気候を活かして、野球やサッカーなど各種キャンプ・大会が盛んに行われていること	29.5	36.6	32.4	34.8	22.9	43.5
20 宿泊施設について客室単価の向上を図りながら、沖縄全体の宿泊供給量が増加していくこと	32.6	35.1	36.0	30.9	24.5	36.9
29 観光客の県内消費額を向上するため、滞在日数が向上するような取組を実施すること	32.8	34.6	34.2	32.5	22.4	37.4
40 観光産業がもたらす県経済への波及効果などを県民にわかり易く発信し、観光の意義や効果について県民の理解を促進すること	26.8	35.6	33.2	32.2	37.2	30.6
21 外国人観光客への対応能力を向上するため、外国語に長けた人材や語学力など専門的な知識や技術を有する外国人が観光産業に従事していること	29.4	34.0	35.9	31.8	16.9	36.6
10 各地域において、その地域の特色を活かした観光誘客活動が行われていること	24.7	33.6	33.3	33.1	27.5	45.6
31 沖縄観光の高度化、国際化等の変化に対応するため、これまで以上にきめ細かいデータの収集と分析について取り組むこと	23.1	33.6	34.7	33.4	22.1	42.3
19 県内離島への観光が促進されていること	26.8	33.1	35.4	30.7	21.2	39.6
28 外国人観光客の県内消費額を向上するため、日本ブランドの魅力を活かした商品・サービスが増えること	27.3	33.8	32.3	31.3	23.1	44.6
24 県民がホスピタリティ（人への直接的なもてなしの精神のみならず、町の清掃活動等も含む）にあふれていること	28.8	33.2	33.2	27.9	39.4	41.3
22 観光従事者一人ひとりが沖縄観光を代表する存在として、観光客に責任を持って対応できていること	28.9	32.8	32.0	30.0	34.3	46.1
13 クルーズ船の寄港先が分散され、バス、タクシー等が一部地域に集中することによる負荷の低減や、観光地の分散化等が図られていること	26.1	32.5	34.2	30.2	32.6	42.7
32 国内の沖縄旅行未経験者の誘客に取り組むこと	28.2	31.5	32.3	31.1	37.2	35.7
8 ウェディング、ショッピング、タイピング、健康保養、卒業記念等、多種多様な目的も兼ねながら観光客が沖縄を訪れていること	24.6	35.0	30.8	29.6	22.2	32.3
3 「空手発祥の地・沖縄」を世界に発信し、世界中の空手愛好家が沖縄を訪れていること	24.3	32.6	30.6	33.3	28.5	31.7
41 次世代を担う県内の児童生徒に対し観光産業の重要性について理解を深めること	27.6	31.5	31.1	29.2	36.0	35.1
39 観光関係者間、地域間、他分野間などの協働の場づくりを推進すること	25.8	31.0	32.1	29.3	36.2	26.9
37 沖縄の優位性を活かし、競合地との差別化を図るため、沖縄観光ブランド「Be.Okinawa」を国内外に発信すること	25.9	30.8	28.9	30.8	36.5	31.8
42 入域観光客数の目標設定など、客観指標に基づいた政策決定が行われていること	26.3	31.4	29.9	29.3	19.9	38.2
12 クルーズ船の寄港に対応する港湾施設の機能が強化され、クルーズ船による観光客が更に増えること	21.5	31.8	31.2	29.8	14.6	34.1
38 海外市場において効果的な誘客活動を行うため、海外メディアやウェブサイト・SNS等を通じた情報発信、ロケ作品を通じたプロモーション、海外事務所と連携した誘客活動等に取り組むこと	26.4	29.6	29.6	28.9	32.5	22.8
36 旅行市場が成熟し長期滞在が期待できる欧米等のリゾート需要を取り込むこと	25.0	30.1	29.0	28.1	19.6	24.9
33 国内外の富裕層の誘客に取り組むこと	25.8	28.4	30.6	27.7	18.4	36.0
34 直行便が就航している東アジア地域（台湾、韓国、中国本土、香港）の誘客を拡大すること	25.8	29.1	28.0	23.3	31.8	34.9
9 MICEを国内外から呼び込み、多くの方が沖縄を訪れていること	21.2	29.7	27.1	29.7	18.2	26.2
35 一部直行便が就航した東南アジア地域（タイ、シンガポール、マレーシア、インドネシア、フィリピン、ベトナム等）からの航空路線の安定化と拡充に積極的に取り組み、誘客を強化すること	22.3	28.8	26.9	23.3	19.6	37.7
6 サッカーやバスケットボールなどの地元チームを活用し、県民と観光客が一体となって楽しんでいること	19.2	25.3	24.1	25.3	16.5	24.9

図表 4-1-5 沖縄観光の各施策に対する“非常に重要”率（性別）

		(%)	
		男性	女性
15	県民や観光客が渋滞に巻き込まれずに目的地まで円滑に移動できること	54.9	57.8
1	沖縄の豊かな自然環境に配慮し、環境と共生した持続可能な観光が推進されていること	52.9	54.3
16	観光客が、不慣れな道路環境等の理由によるレンタカーでの交通事故発生等のトラブル防止の対策がとられていること	45.9	52.4
2	文化・芸能・世界遺産などの魅力ある沖縄文化が、保全・継承され、観光資源として広く活用されていること	45.5	48.7
11	空港機能が強化されることにより、国内外の航空路線の拡充が行われ、県民や観光客の交通の便が良くなること	47.1	46.1
4	県内各地域の特性を踏まえた沖縄らしい風景や町並みが適切に保全され、良好な景観が形成されていること	44.2	48.3
25	高齢であることや障害の有無などにかかわらず、県民、観光客誰もが快適に過ごせる環境が整っていること	42.1	48.8
14	決済手段が多様で、観光客が消費しやすい環境が整備されていること（クレジットカード決済、モバイル決済等）	41.8	42.1
26	地震、津波等大規模災害や根拠の乏しい情報を起因とする風評被害への対応方針が整っていること	38.2	45.6
27	観光客の県内消費額を向上するため、沖縄独自の魅力を活かした商品・サービスが増えること	40.2	43.3
17	観光情報を入手できる観光案内所や観光案内板等が多言語対応で整備されていること	37.6	41.9
30	年間を通して観光収入を安定的に確保するため、閑散期の誘客に取り組むこと	38.2	39.9
18	観光客が無料Wi-Fiに接続出来る環境があること	36.1	36.4
5	温暖な気候を活かして、野球やサッカーなど各種キャンプ・大会が盛んに行われていること	38.0	32.8
28	外国人観光客の県内消費額を向上するため、日本ブランドの魅力を活かした商品・サービスが増えること	34.9	34.9
7	国内外の学生、生徒、教育関係者などが教育旅行で沖縄を訪れていること	35.8	33.6
23	今後の沖縄観光の持続的な振興を担う高度な経営人材を育成し、多様化・高度化する観光客のニーズに対応できていること	34.2	34.5
29	観光客の県内消費額を向上するため、滞在日数が向上するような取組を実施すること	35.5	32.2
19	県内離島への観光が促進されていること	33.7	33.3
33	国内外の富裕層の誘客に取り組むこと	34.9	31.3
31	沖縄観光の高度化、国際化等の変化に対応するため、これまで以上にきめ細かいデータの収集と分析について取り組むこと	33.0	32.5
40	観光産業がもたらす県経済への波及効果などを県民にわかり易く発信し、観光の意義や効果について県民の理解を促進すること	32.4	32.5
32	国内の沖縄旅行未経験者の誘客に取り組むこと	33.8	31.4
10	各地域において、その地域の特徴を活かした観光誘客活動が行われていること	31.8	32.2
8	ウェディング、ショッピング、タイピング、健康保養、卒業記念等、多種多様な目的も兼ねながら観光客が沖縄を訪れていること	31.7	32.7
21	外国人観光客への対応能力を向上するため、外国語に長けた人材や語学力など専門的な知識や技術を有する外国人が観光産業に従事していること	33.0	30.5
24	県民がホスピタリティ（人への直接的なもてなしの精神のみならず、町の清掃活動等も含む）にあふれていること	31.4	31.8
41	次世代を担う県内の児童生徒に対し観光産業の重要性について理解を深めること	32.4	29.9
22	観光従事者一人ひとりが沖縄観光を代表する存在として、観光客に責任を持って対応できていること	31.3	30.5
37	沖縄の優位性を活かし、競合地との差別化を図るため、沖縄観光ブランド「Be.Okinawa」を国内外に発信すること	32.4	28.2
20	宿泊施設について客室単価の向上を図りながら、沖縄全体の宿泊供給量が増加していくこと	30.7	29.9
42	入域観光客数の目標設定など、客観指標に基づいた政策決定が行われていること	31.6	29.0
38	海外市場において効果的な誘客活動を行うため、海外メディアやウェブサイト・SNS等を通じた情報発信、ロゴ作品を通じたプロモーション、海外事務所と連携した誘客活動等に取り組むこと	31.7	28.7
12	クルーズ船の寄港に対応する港湾施設の機能が強化され、クルーズ船による観光客が更に増えること	32.9	25.1
13	クルーズ船の寄港先が分散され、バス、タクシー等が一部地域に集中することによる負荷の低減や、観光地の分散化等が図られていること	31.4	26.5
9	MICEを国内外から呼び込み、多くの方が沖縄を訪れていること	28.9	27.5
35	一部直行便が就航した東南アジア地域（タイ、シンガポール、マレーシア、インドネシア、フィリピン、バトナム等）からの航空路線の安定化と拡充に積極的に取り組み、誘客を強化すること	30.2	26.2
3	「空手発祥の地・沖縄」を世界に発信し、世界中の空手愛好家が沖縄を訪れていること	27.4	28.6
39	観光関係者間、地域間、他分野間などの協働の場づくりを推進すること	28.5	27.4
36	旅行市場が成熟し長期滞在が期待できる欧米等のリゾート需要を取り込むこと	29.1	26.3
34	直行便が就航している東アジア地域（台湾、韓国、中国本土、香港）の誘客を拡大すること	27.1	28.0
6	サッカーやバスケットボールなどの地元チームを活用し、県民と観光客が一体となって楽しんでいること	28.1	24.3

図表 4-1-6 沖縄観光の各施策に対する“非常に重要”率（年代別）

		(%)						
		10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代
15	県民や観光客が渋滞に巻き込まれず目的地で円滑に移動できること	75.4	68.2	58.8	53.8	52.3	48.6	57.7
1	沖縄の豊かな自然環境に配慮し、環境と共生した持続可能な観光が推進されていること	52.5	57.2	51.6	54.8	53.6	49.4	58.0
16	観光客が、不慣れな道路環境等の理由によるレンタカーでの交通事故発生等のトラブル防止の対策がとられていること	62.7	56.8	48.7	48.9	49.7	41.8	51.8
2	文化・芸能・世界遺産などの魅力ある沖縄文化が、保全・継承され、観光資源として広く活用されていること	66.0	49.0	46.8	49.3	45.8	42.9	46.1
11	空港機能が強化されることにより、国内外の航空路線の拡充が行われ、県民や観光客の交通の便が良くなること	35.9	58.4	44.9	42.1	45.5	41.2	54.4
4	県内各地域の特性を踏まえた沖縄らしい風景や町並みが適切に保全され、良好な景観が形成されていること	73.3	56.7	44.8	45.6	45.5	37.5	44.9
25	高齢であることや障害の有無などにかかわらず、県民、観光客誰もが快適に過ごせる環境が整っていること	66.0	58.5	41.4	45.4	42.5	38.0	50.1
14	決済手段が多様で、観光客が消費しやすい環境が整備されていること（クレジットカード決済、モバイル決済等）	62.7	51.8	48.7	44.0	38.8	29.4	36.7
26	地震、津波等大規模災害や根拠の乏しい情報を起因とする風評被害への対応方針が整っていること	55.3	55.8	39.5	40.5	40.4	34.6	42.8
27	観光客の県内消費額を向上するため、沖縄独自の魅力を活かした商品・サービスが増えること	48.0	57.2	40.6	38.2	37.6	34.1	47.3
17	観光情報を入力できる観光案内所や観光案内板等が多言語対応で整備されていること	75.4	51.9	37.9	36.6	38.3	31.8	40.2
30	年間を通して観光収入を安定的に確保するため、閑散期の誘客に取り組むこと	22.0	45.1	36.6	39.5	37.3	34.5	47.2
18	観光客が無料Wi-Fiに接続出来る環境があること	45.2	38.3	35.4	34.9	38.9	34.1	34.8
5	温暖な気候等を活かして、野球やサッカーなど各種キャンプ・大会が盛んに行われていること	46.8	42.1	34.6	31.3	36.1	29.9	42.0
28	外国人観光客の県内消費額を向上するため、日本ブランドの魅力を活かした商品・サービスが増えること	48.0	51.6	32.9	32.1	31.6	24.1	41.6
7	国内外の学生、生徒、教育関係者などが教育旅行で沖縄を訪れていること	31.4	42.5	31.4	34.6	33.5	28.4	43.5
23	今後の沖縄観光の持続的な振興を担う高度な経営人材を育成し、多様化・高度化する観光客のニーズに対応できていること	44.1	39.0	30.0	35.2	33.4	30.0	43.9
29	観光客の県内消費額を向上するため、滞在日数が向上するような取組を実施すること	29.4	45.2	31.7	31.4	33.1	26.3	39.5
19	県内離島への観光が促進されていること	55.3	47.6	29.6	27.5	31.4	26.1	44.8
33	国内外の富裕層の誘客に取り組むこと	37.9	47.3	32.7	31.4	29.9	23.9	36.7
31	沖縄観光の高度化、国際化等の変化に対応するため、これまで以上にきめ細かいデータの収集と分析について取り組むこと	33.4	38.8	31.6	30.6	32.5	27.1	42.1
40	観光産業がもたらす県経済への波及効果などを県民にわかり易く発信し、観光の意義や効果について県民の理解を促進すること	33.4	41.9	31.4	32.8	29.1	27.1	35.4
32	国内の沖縄旅行未経験者の誘客に取り組むこと	50.6	37.9	31.0	31.6	30.5	27.7	39.3
10	各地域において、その地域の特色を活かした観光誘客活動が行われていること	44.1	43.3	30.2	33.8	29.9	24.0	29.5
8	ウェディング、ショッピング、ダイビング、健康保養、卒業記念等、多種多様な目的も兼ねながら観光客が沖縄を訪れていること	43.2	49.5	27.2	31.8	27.8	22.1	35.6
21	外国人観光客への対応能力を向上するため、外国語に長けた人材や語学力など専門的な知識や技術を有する外国人が観光産業に従事していること	46.0	42.1	30.1	27.9	34.3	24.9	30.6
24	県民がホスピタリティ（人への直接的なもてなしの精神のみならず、町の清掃活動等も含む）にあふれていること	38.7	42.6	28.4	26.9	30.7	27.1	37.3
41	次世代を担う県内の児童生徒に対し観光産業の重要性について理解を深めること	50.6	37.0	32.5	30.7	27.7	26.1	30.8
22	観光従事者一人ひとりが沖縄観光を代表する存在として、観光客に責任を持って対応できていること	38.7	38.1	28.0	29.9	31.1	24.3	39.7
37	沖縄の優位性を活かし、競合地との差別化を図るため、沖縄観光ブランド「Be.Okinawa」を国内外に発信すること	33.4	43.9	20.5	26.2	28.5	26.6	44.9
20	宿泊施設について客室準備の向上を図りながら、沖縄全体の宿泊供給量が増加していくこと	40.7	39.5	28.8	29.5	30.2	22.2	33.9
42	入域観光客数の目標設定など、客観指標に基づいた政策決定が行われていること	44.1	42.3	30.7	29.7	26.9	22.0	26.0
38	海外市場において効果的な誘客活動を行うため、海外メディアやウェブサイト・SNS等を通じた情報発信、ロケ作品を通じたプロモーション、海外事務所と連携した誘客活動等に取り組むこと	53.4	41.4	25.3	29.4	28.7	24.2	29.4
12	クルーズ船の寄港先に対応する港湾施設の機能が強化され、クルーズ船による観光客が更に増えること	21.3	41.2	25.1	27.5	27.2	23.0	35.0
13	クルーズ船の寄港先が分散され、バス、タクシー等が一部地域に集中することによる負荷の低減や、観光地の分散化等が図られていること	30.6	33.8	30.7	28.3	28.6	23.7	31.5
9	M I C E を国内外から呼び込み、多くの方が沖縄を訪れていること	28.6	42.8	24.9	27.3	25.5	19.5	32.4
35	一部直行便が就航した東南アジア地域（タイ、シンガポール、マレーシア、インドネシア、フィリピン、 베트남等）からの航空路線の安定化と拡充に積極的に取り組み、誘客を強化すること	28.6	35.2	25.0	27.6	26.6	22.2	38.0
3	「空手発祥の地・沖縄」を世界に発信し、世界中の空手愛好家が沖縄を訪れていること	29.4	28.4	23.1	27.9	27.8	28.7	37.9
39	観光関係者間、地域間、他分野間などの協働の場づくりを推進すること	31.4	38.4	25.3	29.2	25.7	20.4	32.0
36	旅行市場が成熟し長期滞在が期待できる欧米等のリゾート需要を取り込むこと	28.6	35.5	26.6	26.0	27.5	22.1	28.4
34	直行便が就航している東アジア地域（台湾、韓国、中国本土、香港）の誘客を拡大すること	31.4	34.9	26.8	27.5	24.9	20.8	34.4
6	サッカーやバスケットボールなどの地元チームを活用し、県民と観光客が一体となって楽しんでいること	31.4	36.4	27.1	24.8	27.9	17.3	22.8

図表 4-1-7 沖縄観光の各施策に対する“非常に重要”率（観光客と接する機会別）

		(%)		
		日常業務の一環	日常生活のコミュニケーション	機会なし
15	県民や観光客が渋滞に巻き込まれずに目的地まで円滑に移動できること	56.7	60.0	55.2
1	沖縄の豊かな自然環境に配慮し、環境と共生した持続可能な観光が推進されていること	53.4	63.0	51.2
16	観光客が、不慣れな道路環境等の理由によるレンタカーでの交通事故発生等のトラブル防止の対策がとられていること	51.4	55.4	47.2
2	文化・芸能・世界遺産などの魅力ある沖縄文化が、保全・継承され、観光資源として広く活用されていること	50.8	58.0	43.1
11	空港機能が強化されることにより、国内外の航空路線の拡充が行われ、県民や観光客の交通の便が良くなること	43.6	54.0	45.2
4	県内各地域の特性を踏まえた沖縄らしい風景や町並みが適切に保全され、良好な景観が形成されていること	52.9	57.6	41.9
25	高齢であることや障害の有無などにかかわらず、県民、観光客誰もが快適に過ごせる環境が整っていること	46.4	54.8	42.6
14	決済手段が多様で、観光客が消費しやすい環境が整備されていること（クレジットカード決済、モバイル決済等）	45.6	49.8	39.4
26	地震、津波等大規模災害や根拠の乏しい情報を起因とする風評被害への対応方針が整っていること	39.2	49.3	40.7
27	観光客の県内消費額を向上するため、沖縄独自の魅力を活かした商品・サービスが増えること	44.1	46.2	40.4
17	観光情報を入手できる観光案内所や観光案内板等が多言語対応で整備されていること	45.5	47.6	36.2
30	年間を通して観光収入を安定的に確保するため、閑散期の誘客に取り組むこと	43.7	44.4	36.3
18	観光客が無料Wi-Fiに接続出来る環境があること	38.7	43.3	33.7
5	温暖な気候を活かして、野球やサッカーなど各種キャンプ・大会が盛んに行われていること	40.4	42.9	32.3
28	外国人観光客の県内消費額を向上するため、日本ブランドの魅力を活かした商品・サービスが増えること	40.6	41.7	32.0
7	国内外の学生、生徒、教育関係者などが教育旅行で沖縄を訪れていること	32.4	43.9	32.5
23	今後の沖縄観光の持続的な振興を担う高度な経営人材を育成し、多様化・高度化する観光客のニーズに対応できていること	38.5	41.7	30.9
29	観光客の県内消費額を向上するため、滞在日数が向上するような取組を実施すること	42.0	41.8	30.0
19	県内離島への観光が促進されていること	38.2	36.6	31.5
33	国内外の富裕層の誘客に取り組むこと	42.4	40.2	29.2
31	沖縄観光の高度化、国際化等の変化に対応するため、これまで以上にきめ細かいデータの収集と分析について取り組むこと	35.7	40.3	30.1
40	観光産業がもたらす県経済への波及効果などを県民にわかり易く発信し、観光の意義や効果について県民の理解を促進すること	35.6	37.2	30.5
32	国内の沖縄旅行未経験者の誘客に取り組むこと	37.4	37.2	29.8
10	各地域において、その地域の特徴を活かした観光誘客活動が行われていること	41.8	43.4	26.6
8	ウェディング、ショッピング、ダイビング、健康保養、卒業記念等、多種多様な目的も兼ねながら観光客が沖縄を訪れていること	38.6	41.9	28.0
21	外国人観光客への対応能力を向上するため、外国語に長けた人材や語学力など専門的な知識や技術を有する外国人が観光産業に従事していること	38.7	35.3	29.5
24	県民がホスピタリティ（人への直接的なもてなしの精神のみならず、町の清掃活動等も含む）にあふれていること	39.5	39.2	27.5
41	次世代を担う県内の児童生徒に対し観光産業の重要性について理解を深めること	39.8	36.0	27.4
22	観光従事者一人ひとりが沖縄観光を代表する存在として、観光客に責任を持って対応できていること	37.7	38.0	27.6
37	沖縄の優位性を活かし、競合地との差別化を図るため、沖縄観光ブランド「Be, Okinawa」を国内外に発信すること	30.4	35.2	29.0
20	宿泊施設について客室単価の向上を図りながら、沖縄全体の宿泊供給量が増加していくこと	30.7	36.6	28.7
42	入域観光客数の目標設定など、客観指標に基づいた政策決定が行われていること	35.9	33.9	27.9
38	海外市場において効果的な誘客活動を行うため、海外メディアやウェブサイト・SNS等を通じた情報発信、ロケ作品を通じたプロモーション、海外事務所と連携した誘客活動等に取り組むこと	33.3	35.5	28.0
12	クルーズ船の寄港に対応する港湾施設の機能が強化され、クルーズ船による観光客が更にも増えること	34.5	31.6	27.0
13	クルーズ船の寄港先が分散され、バス、タクシー等が一部地域に集中することによる負荷の低減や、観光地の分散化等が図られていること	30.7	34.0	27.4
9	MICEを国内外から呼び込み、多くの方が沖縄を訪れていること	33.9	36.1	24.8
35	一部直行便が就航した東南アジア地域（タイ、シンガポール、マレーシア、インドネシア、フィリピン、バトナム等）からの航空路線の安定化と拡充に積極的に取り組み、誘客を強化すること	29.4	33.6	26.5
3	「空手発祥の地・沖縄」を世界に発信し、世界中の空手愛好家が沖縄を訪れていること	26.4	37.8	25.6
39	観光関係者間、地域間、他分野間などの協働の場づくりを推進すること	33.6	35.5	24.5
36	旅行市場が成熟し長期滞在が期待できる欧米等のリゾート需要を取り込むこと	28.4	33.9	25.9
34	直行便が就航している東アジア地域（台湾、韓国、中国本土、香港）の誘客を拡大すること	26.4	33.1	26.4
6	サッカーやバスケットボールなどの地元チームを活用し、県民と観光客が一体となって楽しんでいること	30.0	35.9	22.9

(2) 沖縄観光の各施策に対する達成度

Q4 ② それぞれの事項について、今の沖縄の観光は、達成できていると思いますか。

- “非常に達成できている”と“ある程度達成できている”を合わせた達成率の上位5項目は、「温暖な気候等を活かして、野球やサッカーなど各種キャンプ・大会が盛んに行われていること（67.5%）」、「国内外の学生、生徒、教育関係者などが教育旅行で沖縄を訪れていること（61.7%）」、「ウェディング、ショッピング、ダイビング、健康保養、卒業記念等、多種多様な目的も兼ねながら観光客が沖縄を訪れていること（59.7%）」、「文化・芸能・世界遺産などの魅力ある沖縄文化が、保全・継承され、観光資源として広く活用されていること（54.4%）」、「サッカーやバスケットボールなどの地元チームを活用し、県民と観光客が一体となって楽しんでいること（50.1%）」であった。
- 一方、達成率の下位5項目は、「観光客が、不慣れな道路環境等の理由によるレンタカーでの交通事故発生等のトラブル防止の対策がとられていること（22.9%）」、「地震、津波等大規模災害や根拠の乏しい情報を起因とする風評被害への対応方針が整っていること（23.8%）」、「県民や観光客が渋滞に巻き込まれずに目的地まで円滑に移動できること（24.3%）」、「観光関係者間、地域間、他分野間などの協働の場づくりを推進すること（25.5%）」、「国内外の富裕層の誘客に取り組むこと（25.8%）」であった。
- 前回調査では5位だった「各種キャンプ・大会の開催」が1位となった。2位の「教育旅行の推進」も前回調査の7位から順位が上昇した。逆に前回15位、16位であった「円滑な移動」「交通事故等のトラブル防止対策」は今回それぞれ40位、42位と順位が大きく下がった。

- 地域別にみると、北部以外の地域では「各種キャンプ・大会の開催」の達成率が最も高い。
各地域の上位・下位3項目は以下の通り。

	北部	中部	那覇市	南部	宮古	八重山	
上位	1位	・教育旅行の推進(第3位)	・各種キャンプ・大会の開催(第1位)	・各種キャンプ・大会の開催(第1位)	・各種キャンプ・大会の開催(第1位)	・各種キャンプ・大会の開催(第1位)	
	2位	・各種キャンプ・大会の開催(第1位)	・多種多様な目的での訪問(第3位)	・教育旅行の推進(第2位)	・教育旅行の推進(第3位)	・多種多様な目的での訪問(第2位)	
	3位	・多種多様な目的での訪問(第2位)	・教育旅行の推進(第2位)	・多種多様な目的での訪問(第3位)	・多種多様な目的での訪問(第2位)	・交通利便性の向上(第4位)	・教育旅行の推進(第3位)
下位	1位	・交通事故等のトラブル防止対策(第4位)	・交通事故等のトラブル防止対策(第2位)	・交通事故等のトラブル防止対策(第1位)	・円滑な移動(第22位)	・閑散期の誘客(第4位)	・高度経営人材の育成(第12位)
	2位	・協働の場づくり(第10位)	・風評被害対策(第3位)	・円滑な移動(第2位)	・風評被害対策(第2位)	・外国人の観光産業従事(第17位)	・風評被害対策(第21位)
	3位	・富裕層の誘客(第20位)	・円滑な移動(第6位)	・富裕層の誘客(第3位)	・交通事故等のトラブル防止対策(第8位)	・海外メディア等と連携した誘客(第23位)	・富裕層の誘客(第4位)

※括弧内は前回調査の順位

※同率でも小数点以下の違いにより順位が異なる場合がある

- 性別や年代別、観光客と接する機会別では、上位項目の傾向に大きな違いはみられない。

図表 4-2-1 沖縄観光の各施策に対する達成度

							(%)	達成度 得点	
	非常に 達成できて いる	ある程度 達成できて いる	どちらとも いえない	あまり 達成できて いない	全く 達成できて いない	無回答	達成率 (非常に・ある程度)		
5	温暖な気候等を活かして、野球やサッカーなど各種キャンプ・大会が盛んに行われていること	20.3	47.2	25.9	4.7	1.2	0.6	67.5	3.81
7	国内外の学生、生徒、教育関係者などが教育旅行で沖縄を訪れていること	15.0	46.7	30.3	6.0	1.2	0.7	61.7	3.69
8	ウエディング、ショッピング、ダイビング、健康保養、卒業記念等、多種多様な目的も兼ねながら観光客が沖縄を訪れていること	14.8	44.9	33.4	5.0	1.1	0.8	59.7	3.68
2	文化・芸能・世界遺産などの魅力ある沖縄文化が、保全・継承され、観光資源として広く活用されていること	10.5	43.9	34.2	8.8	1.8	0.9	54.4	3.53
6	サッカーやバスケットボールなどの地元チームを活用し、県民と観光客が一体となって楽しんでいること	13.2	36.9	38.1	8.8	2.1	0.8	50.1	3.51
3	「空手発祥の地・沖縄」を世界に発信し、世界中の空手愛好家が沖縄を訪れていること	11.4	38.3	37.3	9.8	2.4	0.7	49.7	3.47
11	空港機能が強化されることにより、国内外の航空路線の拡充が行われ、県民や観光客の交通の便が良くなること	11.3	37.3	36.5	11.5	2.8	0.8	48.6	3.43
1	沖縄の豊かな自然環境に配慮し、環境と共生した持続可能な観光が推進されていること	9.1	35.2	36.5	14.8	3.6	0.7	44.3	3.32
4	県内各地域の特色を踏まえた沖縄らしい風景や町並みが適切に保全され、良好な景観が形成されていること	8.5	34.8	37.9	14.4	3.5	0.8	43.3	3.31
14	決済手段が多様で、観光客が消費しやすい環境が整備されていること（クレジットカード決済、モバイル決済等）	9.7	30.7	40.2	14.9	3.7	0.8	40.4	3.28
19	県内離島への観光が促進されていること	8.4	31.2	45.7	11.8	2.0	0.9	39.6	3.33
27	観光客の県内消費額を向上するため、沖縄独自の魅力を活かした商品・サービスが増えること	8.8	30.5	44.0	12.8	2.8	1.2	39.3	3.30
12	クルーズ船の高港に対応する港湾施設の機能が強化され、クルーズ船による観光客が更に増えること	8.0	30.6	47.6	11.1	1.7	0.9	38.6	3.32
10	各地域において、その地域の特色を活かした観光誘客活動が行われていること	8.1	29.6	46.4	12.4	2.8	0.7	37.7	3.28
9	MICEを国内外から呼び込み、多くの方が沖縄を訪れていること	7.5	29.6	49.1	10.6	2.4	0.8	37.1	3.29
20	宿泊施設について客室単価の向上を図りながら、沖縄全体の宿泊供給量が増加していくこと	8.8	27.4	50.4	10.1	2.4	0.9	36.2	3.31
17	観光情報を入手できる観光案内所や観光案内板等が多言語対応で整備されていること	6.9	27.8	44.7	16.3	3.3	1.0	34.7	3.19
24	県民がホスピタリティ（人への直接的なもてなしの精神のみならず、町の美観活動等も含む）にあふれていること	7.8	25.8	46.4	15.7	3.3	1.0	33.6	3.19
34	直行便が就航している東アジア地域（台湾、韓国、中国本土、香港）の誘客を拡大すること	6.9	26.7	52.6	10.3	2.9	0.6	33.6	3.24
13	クルーズ船の高港先が分散され、バス、タクシー等が一部地域に集中することによる負荷の低減や、観光地の分散化等が図られていること	7.7	25.1	49.2	14.0	3.5	0.6	32.8	3.20
18	観光客が無料WiFiに接続出来る環境があること	8.0	24.4	43.0	17.7	5.7	1.2	32.4	3.11
28	外国人観光客の県内消費額を向上するため、日本ブランドの魅力を活かした商品・サービスが増えること	6.9	24.4	50.7	13.9	3.3	0.9	31.3	3.18
22	観光従事者一人ひとりが沖縄観光を代表する存在として、観光客に責任を持って対応できていること	6.9	24.2	48.5	16.5	3.0	0.9	31.1	3.16
23	今後の沖縄観光の持続的な振興を担う高度な経営人材を育成し、多様化・高度化する観光客のニーズに対応できていること	6.8	22.6	49.3	16.6	3.6	1.1	29.4	3.12
21	外国人観光客への対応能力を向上するため、外国語に長けた人材や語学力など専門的な知識や技術を有する外国人が観光産業に従事していること	7.3	21.5	49.0	17.8	3.4	1.0	28.8	3.12
29	観光客の県内消費額を向上するため、滞在日数を向上するような取組を実施すること	5.7	22.8	51.8	15.0	3.9	0.8	28.5	3.11
30	年を通して観光収入を安定的に確保するため、閑散期の誘客に取り組むこと	6.8	21.4	47.5	19.2	4.3	0.8	28.2	3.07
25	高齢であることや海苔の有無などにかかわらず、県民、観光客誰もが快適に過ごせる環境が整っていること	6.4	21.6	45.8	19.8	5.3	1.0	28.0	3.04
36	旅行市場が成熟し長期滞在が期待できる炊米等のリゾート需要を取り込むこと	7.2	20.5	47.1	18.7	5.7	0.8	27.7	3.05
35	一部直行便が就航した東南アジア地域（タイ、シンガポール、マレーシア、インドネシア、フィリピン、ベトナム等）からの航空路線の安定化と拡充に積極的に取り組み、誘客を強化すること	6.1	21.4	54.9	12.9	4.0	0.7	27.5	3.13
32	国内の沖縄旅行未経験者の誘客に取り組むこと	6.3	21.1	51.1	17.0	3.7	0.7	27.4	3.09
40	観光産業がもたらす県経済への波及効果などを県民にわかり易く発信し、観光の意義や効果について県民の理解を促進すること	6.3	20.6	49.8	17.7	5.0	0.7	26.9	3.06
37	沖縄の優位性を活かし、競合地との差別化を図るため、沖縄観光ブランド「Be, Okinawa」を国内外に発信すること	5.9	20.9	49.6	17.8	4.7	1.1	26.8	3.06
42	入城観光客数の目標設定など、客数指標に基づいた政策決定が行われていること	5.6	20.9	51.9	16.4	4.0	1.1	26.5	3.08
38	海外市場において効果的な誘客活動を行うため、海外メディアやウェブサイト・SNS等を通じた情報発信、ロケ作品を通じたプロモーション、海外事務所と連携した誘客活動等に取り組むこと	6.4	20.1	52.5	16.6	3.6	0.9	26.5	3.09
41	次世代を担う県内の児童生徒に対し観光産業の重要性について理解を深めること	6.5	19.6	47.7	20.5	5.0	0.7	26.1	3.02
31	沖縄観光の高度化、国際化等の変化に対応するため、これまで以上にきめ細かいデータの収集と分析について取り組むこと	6.1	19.8	55.9	13.7	3.6	0.9	25.9	3.11
33	国内外の富裕層の誘客に取り組むこと	7.0	18.8	52.3	15.9	5.2	0.7	25.8	3.07
39	観光関係者間、地域間、他分野間などの協働のきっかけを推進すること	5.9	19.6	54.0	16.6	3.2	0.7	25.5	3.09
15	県民や観光客が流滞に巻き込まれずに目的地まで円滑に移動できること	6.5	17.8	36.1	24.6	13.8	1.1	24.3	2.78
26	地震、津波等大規模災害や根拠の乏しい情報を起因とする風評被害への対応方針が整っていること	6.7	17.1	50.1	19.8	5.2	1.1	23.8	3.00
16	観光客が、不備な道路環境等の理由によるレンタカーでの交通事故発生等のトラブル防止の対策がとられていること	6.1	16.8	44.5	24.6	6.9	1.1	22.9	2.91

※達成度得点：「非常に達成できている」＝5点、「ある程度達成できている」＝4点、「どちらともいえない」＝3点、「あまり達成できていない」＝2点、「全く達成できていない」＝1点とした場合の平均得点。

図表 4-2-2 沖縄観光の各施策に対する“達成（非常に＋ある程度）”率（年度別）

		(%)		
		2022年度	2021年度	2019年度
5	温暖な気候等を活かして、野球やサッカーなど各種キャンプ・大会が盛んに行われていること	67.6	46.6	63.6
7	国内外の学生、生徒、教育関係者などが教育旅行で沖縄を訪れていること	61.7	40.8	47.6
8	ウェディング、ショッピング、タイピング、健康保養、卒業記念等、多種多様な目的も兼ねながら観光客が沖縄を訪れていること	59.7	40.3	52.3
2	文化・芸能・世界遺産などの魅力ある沖縄文化が、保全・継承され、観光資源として広く活用されていること	54.3	54.1	52.5
6	サッカーやバスケットボールなどの地元チームを活用し、県民と観光客が一体となって楽しんでいること	50.2	42.5	49.5
3	「空手発祥の地・沖縄」を世界に発信し、世界中の空手愛好家が沖縄を訪れていること	49.7	51.6	56.0
11	空港機能が強化されることにより、国内外の航空路線の拡充が行われ、県民や観光客の交通の便が良くなること	48.6	37.9	48.7
1	沖縄の豊かな自然環境に配慮し、環境と共生した持続可能な観光が推進されていること	44.3	57.5	43.0
4	県内各地域の特性を踏まえた沖縄らしい風景や町並みが適切に保全され、良好な景観が形成されていること	43.4	47.5	40.7
14	決済手段が多様で、観光客が消費しやすい環境が整備されていること（クレジットカード決済、モバイル決済等）	40.4	34.4	28.7
19	県内離島への観光が促進されていること	39.6	32.0	30.6
27	観光客の県内消費額を向上するため、沖縄独自の魅力を活かした商品・サービスが増えること	39.2	27.2	33.2
12	クルーズ船の寄港に対応する港湾施設の機能が強化され、クルーズ船による観光客が更に増えること	38.7	34.9	44.6
10	各地域において、その地域の特徴を活かした観光誘客活動が行われていること	37.7	38.5	32.1
9	M I C E を国内外から呼び込み、多くの方が沖縄を訪れていること	37.1	38.9	28.8
20	宿泊施設について客室単価の向上を図りながら、沖縄全体の宿泊供給量が増加していくこと	36.2	30.6	27.7
17	観光情報入手できる観光案内所や観光案内板等が多言語対応で整備されていること	34.7	32.1	26.1
24	県民がホスピタリティ（人への直接的なもてなしの精神のみならず、町の清掃活動等も含む）にあふれていること	33.6	27.8	19.0
34	直行便が就航している東アジア地域（台湾、韓国、中国本土、香港）の誘客を拡大すること	33.5	25.8	28.5
13	クルーズ船の寄港先が分散され、バス、タクシー等が一部地域に集中することによる負荷の低減や、観光地の分散化等が図られていること	32.8	34.5	31.1
18	観光客が無料W i - F i に接続出来る環境があること	32.3	32.1	25.5
28	外国人観光客の県内消費額を向上するため、日本ブランドの魅力を活かした商品・サービスが増えること	31.2	27.1	27.5
22	観光従事者一人ひとりが沖縄観光を代表する存在として、観光客に責任を持って対応できていること	31.1	29.0	17.7
23	今後の沖縄観光の持続的な振興を担う高度な経営人材を育成し、多様化・高度化する観光客のニーズに対応できていること	29.4	28.2	17.4
21	外国人観光客への対応能力を向上するため、外国語に長けた人材や語学方など専門的な知識や技術を有する外国人が観光産業に従事していること	28.8	29.9	23.4
29	観光客の県内消費額を向上するため、滞在日数が向上するような取組を実施すること	28.5	26.8	22.0
30	年間を通して観光収入を安定的に確保するため、閑散期の誘客に取り組むこと	28.2	26.6	20.1
25	高齢であることや障害の有無などにかかわらず、県民、観光客誰もが快適に過ごせる環境が整っていること	28.1	27.3	17.9
36	旅行市場が成熟し長期滞在が期待できる欧米等のリゾート需要を取り込むこと	27.7	25.8	14.0
35	一部直行便が就航した東南アジア地域（タイ、シンガポール、マレーシア、インドネシア、フィリピン、ベトナム等）からの航空路線の安定化と拡充に積極的に取り組み、誘客を強化すること	27.5	25.8	20.5
32	国内の沖縄旅行未経験者の誘客に取り組むこと	27.4	26.3	17.3
40	観光産業がもたらす県経済への波及効果などを県民にわかり易く発信し、観光の意義や効果について県民の理解を促進すること	26.9	24.0	16.6
37	沖縄の優位性を活かし、競合地との差別化を図るため、沖縄観光ブランド「Be.Okinawa」を国内外に発信すること	26.8	25.6	17.3
42	入域観光客数の目標設定など、客観指標に基づいた政策決定が行われていること	26.6	23.6	17.2
38	海外市場において効果的な誘客活動を行うため、海外メディアやウェブサイト・SNS等を通じた情報発信、ロケ作品を通じたプロモーション、海外事務所と連携した誘客活動等に取り組むこと	26.5	25.6	14.6
41	次世代を担う県内の児童生徒に対し観光産業の重要性について理解を深めること	26.1	23.7	16.5
31	沖縄観光の高度化、国際化等の変化に対応するため、これまで以上にきめ細かいデータの収集と分析について取り組むこと	25.9	26.5	18.9
33	国内外の富裕層の誘客に取り組むこと	25.8	26.2	14.5
39	観光関係者間、地域間、他分野間などの協働の場づくりを推進すること	25.6	25.2	14.0
15	県民や観光客が渋滞に巻き込まれずに目的地まで円滑に移動できること	24.3	33.9	24.3
26	地震、津波等大規模災害や根拠の乏しい情報を起因とする風評被害への対応方針が整っていること	23.8	27.2	13.6
16	観光客が、不慣れな道路環境等の理由によるレンタカーでの交通事故発生等のトラブル防止の対策がとられていること	22.9	32.8	17.6

図表 4-2-3 沖縄観光の各施策に対する“達成（非常に＋ある程度）”率（地域別）【2022年度】

	(%)					
	北部	中部	那覇市	南部	宮古	八重山
5 温暖な気候を活かして、野球やサッカーなど各種キャンプ・大会が盛んに行われていること	67.7	69.8	65.8	69.2	46.6	64.2
7 国内外の学生、生徒、教育関係者などが教育旅行で沖縄を訪れていること	69.1	62.6	62.0	61.6	35.1	59.8
8 ウェディング、ショッピング、タイピング、健康保養、卒業記念等、多種多様な目的も兼ねながら観光客が沖縄を訪れていること	57.9	62.7	56.6	60.0	42.2	63.5
2 文化・芸能・世界遺産などの魅力ある沖縄文化が、保全・継承され、観光資源として広く活用されていること	55.2	57.0	54.2	51.5	36.1	53.7
6 サッカーやバスケットボールなどの地元チームを活用し、県民と観光客が一体となっていること	51.2	53.6	48.1	50.3	30.6	38.2
3 「空手発祥の地・沖縄」を世界に発信し、世界中の空手愛好家が沖縄を訪れていること	45.5	53.5	49.9	49.8	35.3	29.1
11 空港機能が強化されることにより、国内外の航空路線の拡充が行われ、県民や観光客の交通の便が良くなること	53.8	48.4	51.0	45.4	41.1	46.9
1 沖縄の豊かな自然環境に配慮し、環境と共生した持続可能な観光が推進されていること	51.7	44.7	49.1	38.9	26.5	39.9
4 県内各地域の特性を踏まえた沖縄らしい風景や町並みが適切に保全され、良好な景観が形成されていること	47.5	43.5	45.2	42.4	30.4	39.3
14 決済手段が多様で、観光客が消費しやすい環境が整備されていること（クレジットカード決済、モバイル決済等）	40.0	42.1	40.6	39.5	23.7	41.9
19 県内離島への観光が促進されていること	39.1	41.4	37.5	38.7	29.1	47.0
27 観光客の県内消費額を向上するため、沖縄独自の魅力を活かした商品・サービスが増えること	39.6	42.0	37.2	38.2	18.4	43.7
12 クルーズ船の寄港に対応する港湾施設の機能が強化され、クルーズ船による観光客が更に増えること	40.0	38.4	39.8	36.9	36.6	42.8
10 各地域において、その地域の特徴を活かした観光誘客活動が行われていること	46.3	37.7	42.4	29.8	24.8	42.6
9 M I C Eを国内外から呼び込み、多くの方が沖縄を訪れていること	44.3	39.8	36.7	31.5	23.5	32.6
20 宿泊施設について客室単価の向上を図りながら、沖縄全体の宿泊供給量が増加していくこと	33.5	37.4	39.1	34.2	26.1	31.5
17 観光情報を入力できる観光案内所や観光案内板等が多言語対応で整備されていること	34.9	35.8	38.7	33.2	13.0	28.7
24 県民がホスピタリティ（人への直接的なもてなしの精神のみならず、町の清掃活動等も含む）にあふれていること	38.7	36.2	35.2	28.0	14.9	27.5
34 直行便が就航している東アジア地域（台湾、韓国、中国本土、香港）の誘客を拡大すること	38.6	37.0	30.9	29.3	25.0	27.3
13 クルーズ船の寄港先が分散され、バス、タクシー等が一部地域に集中することによる負荷の低減や、観光地の分散化等が図られていること	37.2	33.4	33.4	29.4	24.7	35.3
18 観光客が無料W i - F i に接続出来る環境があること	31.3	34.3	31.4	32.1	19.4	31.0
28 外国人観光客の県内消費額を向上するため、日本ブランドの魅力を活かした商品・サービスが増えること	35.8	33.2	28.9	30.5	13.8	32.6
22 観光従事者一人ひとりが沖縄観光を代表する存在として、観光客に責任を持って対応できていること	26.1	34.1	32.6	30.3	11.5	23.2
23 今後の沖縄観光の持続的な振興を担う高度な経営人材を育成し、多様化・高度化する観光客のニーズに対応できていること	33.4	33.1	28.8	23.6	18.2	19.1
21 外国人観光客への対応能力を向上するため、外国語に長けた人材や語学力など専門的な知識や技術を有する外国人が観光産業に従事していること	31.9	32.0	28.6	24.8	10.1	24.3
29 観光客の県内消費額を向上するため、滞在日数が向上するような取組を実施すること	31.7	29.2	32.2	25.3	13.0	22.9
30 年間を通して観光収入を安定的に確保するため、閑散期の誘客に取り組みこと	28.5	31.4	30.3	23.0	8.5	22.8
25 高齢であることや障害の有無などにかかわらず、県民、観光客誰もが快適に過ごせる環境が整っていること	26.9	32.0	29.2	22.6	12.7	21.9
36 旅行市場が成熟し長期滞在が期待できる欧米等のリゾート需要を取り込むこと	28.9	29.9	29.1	24.8	11.3	23.0
35 一部直行便が就航した東南アジア地域（タイ、シンガポール、マレーシア、インドネシア、フィリピン、ベトナム等）からの航空路線の安定化と拡充に積極的に取り組み、誘客を強化すること	34.8	30.3	25.9	22.3	16.4	23.5
32 国内の沖縄旅行未経験者の誘客に取り組むこと	32.1	28.2	30.0	23.5	16.9	23.1
40 観光産業がもたらす県経済への波及効果などを県民にわかり易く発信し、観光の意義や効果について県民の理解を促進すること	27.0	27.7	27.9	27.4	13.5	22.1
37 沖縄の優位性を活かし、競合地との差別化を図るため、沖縄観光ブランド「Be.Okinawa」を国内外に発信すること	29.8	29.5	26.5	21.9	16.1	25.5
42 入域観光客数の目標設定など、客観指標に基づいた政策決定が行われていること	31.3	27.8	26.0	25.1	13.0	25.9
38 海外市場において効果的な誘客活動を行うため、海外メディアやウェブサイト・SNS等を通じた情報発信、ロケ作品を通じたプロモーション、海外事務所と連携した誘客活動等に取り組むこと	30.8	29.1	25.0	24.0	10.7	23.4
41 次世代を担う県内の児童生徒に対し観光産業の重要性について理解を深めること	25.5	28.8	25.8	23.0	16.4	22.0
31 沖縄観光の高度化、国際化等の変化に対応するため、これまで以上にきめ細かいデータの収集と分析について取り組むこと	32.3	28.1	27.5	19.9	11.1	21.0
33 国内外の富裕層の誘客に取り組むこと	25.3	29.0	24.1	23.3	17.3	20.6
39 観光関係者間、地域間、他分野間などの協働の場づくりを推進すること	21.7	28.8	25.7	23.1	13.5	21.0
15 県民や観光客が渋滞に巻き込まれずに目的地まで円滑に移動できること	28.2	26.9	22.8	17.7	19.2	32.1
26 地震、津波等大規模災害や根拠の乏しい情報を起因とする風評被害への対応方針が整っていること	26.0	26.9	24.4	18.0	11.6	19.5
16 観光客が、不慣れな道路環境等の理由によるレンタカーでの交通事故発生等のトラブル防止の対策がとられていること	19.8	26.2	22.1	19.3	15.6	21.1

図表 4-2-4 沖縄観光の各施策に対する“達成（非常に＋ある程度）”率（地域別）【2021 年度】

	(%)					
	北部	中部	那覇市	南部	宮古	八重山
5 温暖な気候を活かして、野球やサッカーなど各種キャンプ・大会が盛んに行われていること	56.0	57.6	59.7	57.3	51.9	53.9
7 国内外の学生、生徒、教育関係者などが教育旅行で沖縄を訪れていること	44.8	55.9	56.8	53.0	49.6	49.1
8 ウェディング、ショッピング、ダイビング、健康保養、卒業記念等、多種多様な目的も兼ねながら観光客が沖縄を訪れていること	45.3	52.4	52.1	53.6	44.1	51.3
2 文化・芸能・世界遺産などの魅力ある沖縄文化が、保全・継承され、観光資源として広く活用されていること	40.5	49.6	51.0	43.2	42.2	45.2
11 空港機能が強化されることにより、国内外の航空路線の拡充が行われ、県民や観光客の交通の便が良くなること	42.8	47.9	45.2	48.0	44.8	41.7
6 サッカーやバスケットボールなどの地元チームを活用し、県民と観光客が一体となって楽しんでいること	37.0	46.1	41.8	41.9	26.9	35.7
3 「空手発祥の地・沖縄」を世界に発信し、世界中の空手愛好家が沖縄を訪れていること	29.0	42.7	42.4	43.0	42.8	25.1
1 沖縄の豊かな自然環境に配慮し、環境と共生した持続可能な観光が推進されていること	31.4	43.0	41.8	37.4	37.3	36.9
14 決済手段が多様で、観光客が消費しやすい環境が整備されていること（クレジットカード決済、モバイル決済等）	36.4	38.8	41.1	36.4	45.5	38.7
4 県内各地域の特性を踏まえた沖縄らしい風景や町並みが適切に保全され、良好な景観が形成されていること	29.4	39.1	41.9	38.8	26.6	41.9
12 クルーズ船の寄港に対応する港湾施設の機能が強化され、クルーズ船による観光客が更に増えること	29.7	37.8	40.6	38.1	41.4	38.1
10 各地域において、その地域の特色を活かした観光誘客活動が行われていること	31.5	37.0	35.9	34.0	23.2	28.1
27 観光客の県内消費額を向上するため、沖縄独自の魅力を活かした商品・サービスが増えること	30.2	35.7	37.9	34.2	24.9	22.6
19 県内離島への観光が促進されていること	31.2	35.6	36.7	29.5	40.8	33.0
17 観光情報を入力できる観光案内所や観光案内板等多言語対応で整備されていること	30.9	35.0	34.7	36.0	25.3	20.8
9 M I C E を国内外から呼び込み、多くの方が沖縄を訪れていること	22.1	33.7	36.8	35.4	18.1	26.0
13 クルーズ船の寄港先が分散され、バス、タクシー等が一部地域に集中することによる負荷の低減や、観光地の分散化等が図られていること	25.3	33.7	35.8	30.0	22.2	28.6
18 観光客が無料 W i - F i に接続出来る環境があること	35.7	33.7	33.2	30.6	19.1	19.7
20 宿泊施設について客室単価の向上を図りながら、沖縄全体の宿泊供給量が増加していくこと	31.3	31.5	32.0	33.1	37.0	27.8
34 直行便が就航している東アジア地域（台湾、韓国、中国本土、香港）の誘客を拡大すること	24.8	31.9	34.1	28.9	23.2	25.2
24 県民がホスピタリティ（人への直接的なもてなしの精神のみならず、町の清掃活動等も含む）にあふれていること	24.8	32.0	33.0	26.0	19.1	28.5
28 外国人観光客の県内消費額を向上するため、日本ブランドの魅力を活かした商品・サービスが増えること	28.3	30.9	30.9	26.7	20.9	17.1
22 観光従事者一人ひとりが沖縄観光を代表する存在として、観光客に責任を持って対応できていること	28.7	30.9	31.4	20.9	20.7	20.2
32 国内の沖縄旅行未経験者の誘客に取り組むこと	26.2	30.1	30.7	23.4	19.1	18.4
29 観光客の県内消費額を向上するため、滞在日数が向上するような取組を実施すること	25.2	28.2	30.6	25.9	16.9	21.2
40 観光産業がもたらす県経済への波及効果などを県民にわかり易く発信し、観光の意義や効果について県民の理解を促進すること	27.7	29.0	29.5	23.7	17.2	18.4
42 入域観光客数の目標設定など、客観指標に基づいた政策決定が行われていること	29.0	28.5	29.0	23.8	18.6	21.8
25 高齢であることや障害の有無などにかかわらず、県民、観光客誰もが快適に過ごせる環境が整っていること	22.3	30.0	28.2	25.1	15.8	20.1
23 今後の沖縄観光の持続的な振興を担う高度な経営人材を育成し、多様化・高度化する観光客のニーズに対応できていること	22.3	28.5	29.6	24.8	17.5	19.5
37 沖縄の優位性を活かし、競合地との差別化を図るため、沖縄観光ブランド「Be.Okinawa」を国内外に発信すること	29.8	26.3	30.1	24.1	23.9	17.6
21 外国人観光客への対応能力を向上するため、外国語に長けた人材や語学力など専門的な知識や技術を有する外国人が観光産業に従事していること	23.7	26.9	31.5	23.9	19.7	18.3
35 一部直行便が就航した東南アジア地域（タイ、シンガポール、マレーシア、インドネシア、フィリピン、ベトナム等）からの航空路線の安定化と拡充に積極的に取り組み、誘客を強化すること	24.7	26.4	30.8	24.3	20.2	20.3
38 海外市場において効果的な誘客活動を行うため、海外メディアやウェブサイト・SNS等を通じた情報発信、ロケ作品を通じたプロモーション、海外事務所と連携した誘客活動等に取り組むこと	20.5	27.8	29.9	23.0	22.2	20.6
31 沖縄観光の高度化、国際化等の変化に対応するため、これまで以上にきめ細かいデータの収集と分析について取り組むこと	23.0	26.6	29.7	23.5	19.1	18.7
30 年間を通して観光収入を安定的に確保するため、閑散期の誘客に取り組むこと	19.6	27.3	27.0	26.8	16.9	20.2
33 国内外の富裕層の誘客に取り組むこと	26.7	27.0	25.7	25.1	21.2	18.2
15 県民や観光客が渋滞に巻き込まれずに目的地まで円滑に移動できること	26.2	26.4	24.1	27.1	15.1	26.9
39 観光関係者間、地域間、他分野間などの協働の場づくりを推進すること	23.5	27.3	27.8	22.5	19.2	19.1
36 旅行市場が成熟し長期滞在が期待できる欧米等のリゾート需要を取り込むこと	20.3	27.3	27.0	23.8	17.5	16.3
26 地震、津波等大規模災害や根拠の乏しい情報を起因とする風評被害への対応方針が整っていること	20.0	25.6	26.0	21.6	18.5	21.4
16 観光客が、不慣れな道路環境等の理由によるレンタカーでの交通事故発生等のトラブル防止の対策がとられていること	20.5	25.1	23.4	23.6	20.5	18.7
41 次世代を担う県内の児童生徒に対し観光産業の重要性について理解を深めること	23.6	24.2	26.0	21.7	17.0	18.5

図表 4-2-5 沖縄観光の各施策に対する“達成（非常に＋ある程度）”率（性別）

	(%)	
	男性	女性
5 温暖な気候等を活かして、野球やサッカーなど各種キャンプ・大会が盛んに行われていること	65.7	70.1
7 国内外の学生、生徒、教育関係者などが教育旅行で沖縄を訪れていること	58.8	65.3
8 ウェディング、ショッピング、ダイビング、健康保養、卒業記念等、多種多様な目的も兼ねながら観光客が沖縄を訪れていること	55.9	64.3
2 文化・芸能・世界遺産などの魅力ある沖縄文化が、保全・継承され、観光資源として広く活用されていること	49.5	60.2
6 サッカーやバスケットボールなどの地元チームを活用し、県民と観光客が一体となって楽しんでいること	51.1	49.7
3 「空手発祥の地・沖縄」を世界に発信し、世界中の空手愛好家が沖縄を訪れていること	46.3	53.7
11 空港機能が強化されることにより、国内外の航空路線の拡充が行われ、県民や観光客の交通の便が良くなること	48.8	49.2
1 沖縄の豊かな自然環境に配慮し、環境と共生した持続可能な観光が推進されていること	45.3	44.2
4 県内各地域の特性を踏まえた沖縄らしい風景や町並みが適切に保全され、良好な景観が形成されていること	42.2	45.3
14 決済手段が多様で、観光客が消費しやすい環境が整備されていること（クレジットカード決済、モバイル決済等）	38.9	42.4
19 県内離島への観光が促進されていること	37.3	42.3
27 観光客の県内消費額を向上するため、沖縄独自の魅力を活かした商品・サービスが増えること	36.9	42.4
12 クルーズ船の寄港に対応する港湾施設の機能が強化され、クルーズ船による観光客が更に増えること	38.5	39.6
10 各地域において、その地域の特徴を活かした観光誘客活動が行われていること	36.5	39.6
9 M I C E を国内外から呼び込み、多くの方が沖縄を訪れていること	36.2	38.7
20 宿泊施設について客室単価の向上を図りながら、沖縄全体の宿泊供給量が増加していくこと	36.4	36.6
17 観光情報入手できる観光案内所や観光案内板等が多言語対応で整備されていること	35.6	34.5
24 県民がホスピタリティ（人への直接的なもてなしの精神のみならず、町の清掃活動等も含む）にあふれていること	34.9	32.9
34 直行便が就航している東アジア地域（台湾、韓国、中国本土、香港）の誘客を拡大すること	31.8	36.1
13 クルーズ船の寄港先が分散され、バス、タクシー等が一部地域に集中することによる負荷の低減や、観光地の分散化等が図られていること	34.2	31.7
18 観光客が無料Wi-Fiに接続出来る環境があること	32.7	32.5
28 外国人観光客の県内消費額を向上するため、日本ブランドの魅力を活かした商品・サービスが増えること	30.0	33.2
22 観光従事者一人ひとりが沖縄観光を代表する存在として、観光客に責任を持って対応できていること	31.1	31.7
23 今後の沖縄観光の持続的な振興を担う高度な経営人材を育成し、多様化・高度化する観光客のニーズに対応できていること	29.1	30.1
21 外国人観光客への対応能力を向上するため、外国語に長けた人材や語学力など専門的な知識や技術を有する外国人が観光産業に従事していること	28.3	29.9
29 観光客の県内消費額を向上するため、滞在日数が向上するような取組を実施すること	29.6	28.2
30 年間を通して観光収入を安定的に確保するため、閑散期の誘客に取り組むこと	28.8	28.0
25 高齢であることや障害の有無などにかかわらず、県民、観光客誰もが快適に過ごせる環境が整っていること	30.0	26.8
36 旅行市場が成熟し長期滞在が期待できる欧米等のリゾート需要を取り込むこと	29.1	26.9
35 一部直行便が就航した東南アジア地域（タイ、シンガポール、マレーシア、インドネシア、フィリピン、ベトナム等）からの航空路線の安定化と拡充に積極的に取り組み、誘客を強化すること	26.8	28.8
32 国内の沖縄旅行未経験者の誘客に取り組むこと	26.9	28.2
40 観光産業がもたらす県経済への波及効果などを県民にわかり易く発信し、観光の意義や効果について県民の理解を促進すること	27.7	26.8
37 沖縄の優位性を活かし、競合地との差別化を図るため、沖縄観光ブランド「Be.Okinawa」を国内外に発信すること	28.5	25.5
42 入域観光客数の目標設定など、客観指標に基づいた政策決定が行われていること	28.2	25.3
38 海外市場において効果的な誘客活動を行うため、海外メディアやウェブサイト・SNS等を通じた情報発信、ロケ作品を通じたプロモーション、海外事務所と連携した誘客活動等に取り組むこと	28.1	25.3
41 次世代を担う県内の児童生徒に対し観光産業の重要性について理解を深めること	27.0	25.8
31 沖縄観光の高度化、国際化等の変化に対応するため、これまで以上にきめ細かいデータの収集と分析について取り組むこと	25.6	26.7
33 国内外の富裕層の誘客に取り組むこと	25.5	26.5
39 観光関係者間、地域間、他分野間などの協働の場づくりを推進すること	26.4	25.2
15 県民や観光客が渋滞に巻き込まれずに目的地まで円滑に移動できること	24.9	24.3
26 地震、津波等大規模災害や根拠の乏しい情報を起因とする風評被害への対応方針が整っていること	25.0	22.9
16 観光客が、不慣れな道路環境等の理由によるレンタカーでの交通事故発生等のトラブル防止の対策がとられていること	22.8	23.3

図表 4-2-6 沖縄観光の各施策に対する“達成（非常に＋ある程度）”率（年代別）

		(%)						
		10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代
5	温暖な気候等を活かして、野球やサッカーなど各種キャンプ・大会が盛んに行われていること	87.3	68.7	63.7	67.3	65.8	70.0	69.9
7	国内外の学生、生徒、教育関係者などが教育旅行で沖縄を訪れていること	100.0	75.1	57.3	58.2	58.1	57.3	59.8
8	ウェディング、ショッピング、ダイビング、健康保養、卒業記念等、多種多様な目的も兼ねながら観光客が沖縄を訪れていること	92.7	74.3	55.7	56.9	56.6	54.1	54.7
2	文化・芸能・世界遺産などの魅力ある沖縄文化が、保全・継承され、観光資源として広く活用されていること	80.0	69.0	49.5	50.9	49.4	50.2	53.0
6	サッカーやバスケットボールなどの地元チームを活用し、県民と観光客が一体となって楽しんでいること	85.4	64.3	49.8	51.1	46.4	43.3	35.1
3	「空手発祥の地・沖縄」を世界に発信し、世界中の空手愛好家が沖縄を訪れていること	69.5	50.4	38.2	45.8	49.6	55.1	66.5
11	空港機能が強化されることにより、国内外の航空路線の拡充が行われ、県民や観光客の交通の便が良くなること	65.4	55.9	40.3	43.7	46.7	52.5	51.7
1	沖縄の豊かな自然環境に配慮し、環境と共生した持続可能な観光が推進されていること	56.8	64.3	45.7	37.9	38.5	39.1	31.9
4	県内各地域の特性を踏まえた沖縄らしい風景や町並みが適切に保全され、良好な景観が形成されていること	72.7	63.8	43.5	41.8	36.3	35.3	27.6
14	決済手段が多様で、観光客が消費しやすい環境が整備されていること（クレジットカード決済、モバイル決済等）	55.2	55.3	36.4	38.3	38.8	34.7	33.1
19	県内離島への観光が促進されていること	72.7	52.8	36.6	35.3	37.3	34.9	37.4
27	観光客の県内消費額を向上するため、沖縄独自の魅力を活かした商品・サービスが増えること	63.3	60.7	37.4	36.3	33.8	29.4	30.6
12	クルーズ船の寄港に対応する港湾施設の機能が強化され、クルーズ船による観光客が更に増えること	38.0	46.6	29.7	38.7	40.2	37.2	41.2
10	各地域において、その地域の特色を活かした観光誘客活動が行われていること	65.4	52.1	36.0	35.7	35.1	32.2	24.9
9	M I C Eを国内外から呼び込み、多くの方が沖縄を訪れていること	68.0	47.5	35.1	37.1	37.0	31.4	26.3
20	宿泊施設について客室単価の向上を図りながら、沖縄全体の宿泊供給量が増加していくこと	65.4	53.8	29.3	32.8	34.4	30.6	28.1
17	観光情報を入力できる観光案内所や観光案内板等が多言語対応で整備されていること	47.5	56.9	35.7	33.3	31.9	22.9	15.7
24	県民がホスピタリティ（人への直接的なもてなしの精神のみならず、町の清掃活動等も含む）にあふれていること	68.7	54.2	31.5	29.7	29.0	24.8	21.0
34	直行便が就航している東アジア地域（台湾、韓国、中国本土、香港）の誘客を拡大すること	89.9	45.0	26.6	32.0	34.1	27.1	27.9
13	クルーズ船の寄港先が分散され、バス、タクシー等が一部地域に集中することによる負荷の低減や、観光地の分散化等が図られていること	58.0	39.9	27.2	31.4	33.2	29.6	31.6
18	観光客が無料W i - F iに接続出来る環境があること	52.6	49.2	26.9	31.7	30.7	27.8	14.4
28	外国人観光客の県内消費額を向上するため、日本ブランドの魅力を活かした商品・サービスが増えること	56.0	50.1	28.1	29.7	28.4	21.7	20.5
22	観光従事者一人ひとりが沖縄観光を代表する存在として、観光客に責任を持って対応できていること	63.3	50.2	29.8	27.3	27.8	22.5	20.0
23	今後の沖縄観光の持続的な振興を担う高度な経営人材を育成し、多様化・高度化する観光客のニーズに対応できていること	58.0	51.6	23.4	27.3	26.6	21.0	14.8
21	外国人観光客への対応能力を向上するため、外国語に長けた人材や語学力など専門的な知識や技術を有する外国人が観光産業に従事していること	56.0	45.9	27.7	26.6	28.0	20.9	11.9
29	観光客の県内消費額を向上するため、滞在日数が向上するような取組を実施すること	62.6	48.3	25.8	26.6	24.9	19.5	15.2
30	年間を通して観光収入を安定的に確保するため、閑散期の誘客に取り組むこと	73.2	46.0	23.8	23.3	26.3	23.1	13.3
25	高齢であることや障害の有無などにかかわらず、県民、観光客誰もが快適に過ごせる環境が整っていること	76.0	48.5	24.1	25.5	26.0	18.2	12.4
36	旅行市場が成熟し長期滞在が期待できる欧米等のリゾート需要を取り込むこと	45.9	48.9	25.2	27.4	24.8	17.7	9.9
35	一部直行便が就航した東南アジア地域（タイ、シンガポール、マレーシア、インドネシア、フィリピン、ベトナム等）からの航空路線の安定化と拡充に積極的に取り組み、誘客を強化すること	54.0	39.5	21.3	28.2	27.8	22.3	15.6
32	国内の沖縄旅行未経験者の誘客に取り組むこと	65.4	40.3	25.4	26.6	25.2	22.0	15.0
40	観光産業がもたらす県経済への波及効果などを県民にわかり易く発信し、観光の意義や効果について県民の理解を促進すること	45.9	44.0	23.1	24.0	26.1	20.8	12.8
37	沖縄の優位性を活かし、競合地との差別化を図るため、沖縄観光ブランド「Be.Okinawa」を国内外に発信すること	39.4	42.4	25.5	26.6	24.2	18.5	13.1
42	入域観光客数の目標設定など、客観指標に基づいた政策決定が行われていること	28.7	42.0	22.4	27.1	26.5	20.3	12.1
38	海外市場において効果的な誘客活動を行うため、海外メディアやウェブサイト・SNS等を通じた情報発信、ロゴ作品を通じたプロモーション、海外事務所と連携した誘客活動等に取り組むこと	51.3	43.4	26.2	25.6	24.8	17.1	8.0
41	次世代を担う県内の児童生徒に対し観光産業の重要性について理解を深めること	62.6	47.0	22.0	24.9	24.2	15.1	8.2
31	沖縄観光の高度化、国際化等の変化に対応するため、これまで以上にきめ細かいデータの収集と分析について取り組むこと	56.0	44.0	19.9	24.8	25.3	18.0	12.4
33	国内外の富裕層の誘客に取り組むこと	58.0	40.6	21.0	28.4	25.0	17.1	10.9
39	観光関係者間、地域間、他分野間などの協働の場づくりを推進すること	48.7	45.4	19.3	25.7	24.4	17.3	8.0
15	県民や観光客が渋滞に巻き込まれずに目的地まで円滑に移動できること	44.7	36.4	19.0	22.2	22.7	20.1	22.9
26	地震、津波等大規模災害や根拠の乏しい情報を起因とする風評被害への対応方針が整っていること	61.4	42.2	18.4	22.6	21.7	15.2	10.4
16	観光客が、不慣れな道路環境等の理由によるレンタカーでの交通事故発生等のトラブル防止の対策がとられていること	58.0	36.5	17.1	21.3	21.4	17.5	14.2

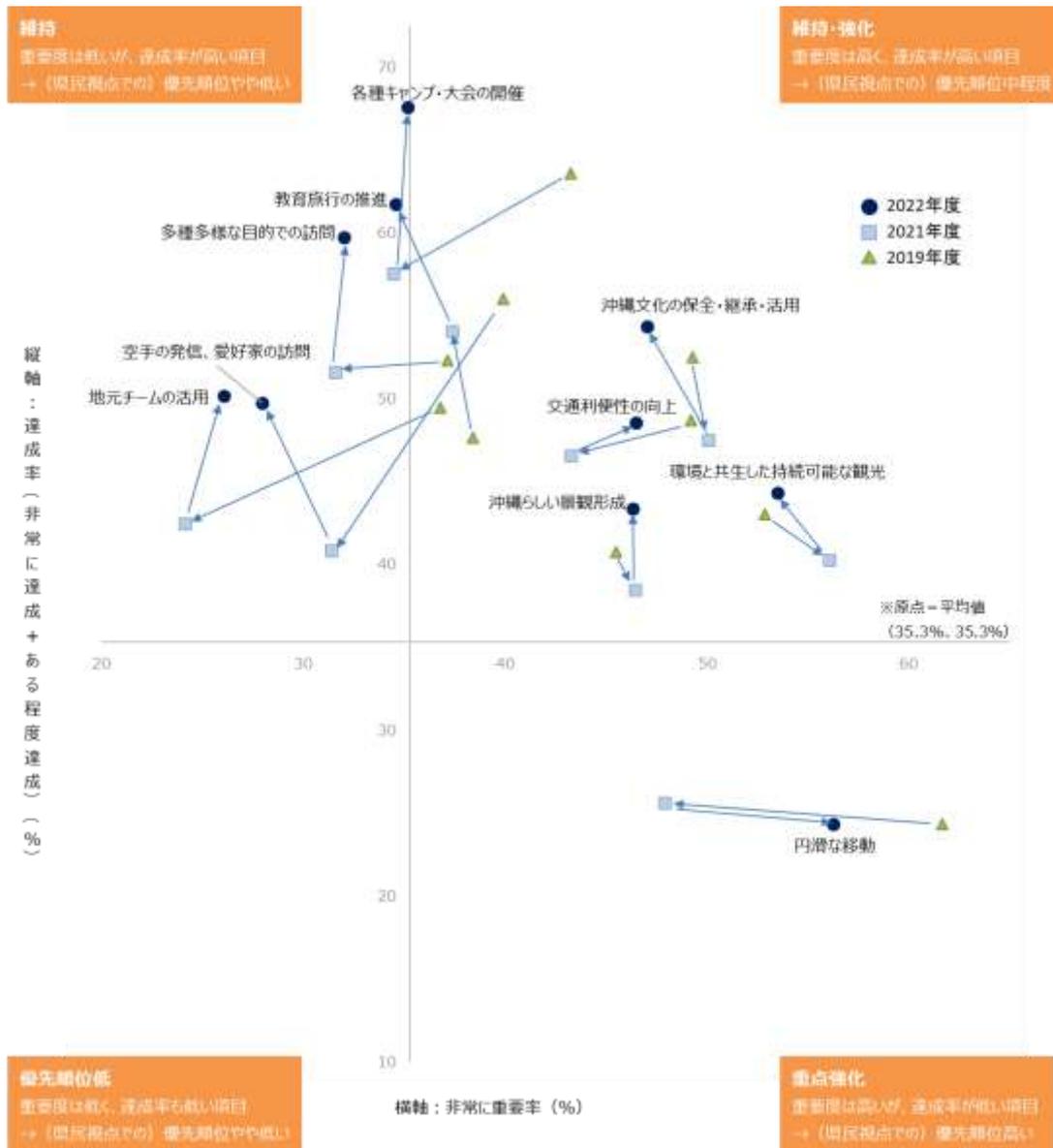
図表 4-2-7 沖縄観光の各施策に対する“達成(非常に+ある程度)”率(観光客と接する機会別)

		(%)		
		日常業務の一環	日常生活のコミュニケーション	機会なし
5	温暖な気候等を活かして、野球やサッカーなど各種キャンプ・大会が盛んに行われていること	66.3	74.0	66.8
7	国内外の学生、生徒、教育関係者などが教育旅行で沖縄を訪れていること	63.3	65.5	60.6
8	ウェディング、ショッピング、タイピング、健康保養、卒業記念等、多種多様な目的も兼ねながら観光客が沖縄を訪れていること	56.4	65.7	59.0
2	文化・芸能・世界遺産などの魅力ある沖縄文化が、保全・継承され、観光資源として広く活用されていること	55.9	60.6	52.7
6	サッカーやバスケットボールなどの地元チームを活用し、県民と観光客が一体となって楽しんでいること	52.5	58.3	48.0
3	「空手発祥の地・沖縄」を世界に発信し、世界中の空手愛好家が沖縄を訪れていること	46.0	57.1	48.5
11	空港機能が強化されることにより、国内外の航空路線の拡充が行われ、県民や観光客の交通の便が良くなること	47.5	55.2	47.3
1	沖縄の豊かな自然環境に配慮し、環境と共生した持続可能な観光が推進されていること	47.3	52.3	42.3
4	県内各地域の特性を踏まえた沖縄らしい風景や町並みが適切に保全され、良好な景観が形成されていること	44.2	50.1	41.9
14	決済手段が多様で、観光客が消費しやすい環境が整備されていること(クレジットカード決済、モバイル決済等)	43.8	44.2	39.3
19	県内離島への観光が促進されていること	47.7	43.8	37.2
27	観光客の県内消費額を向上するため、沖縄独自の魅力を活かした商品・サービスが増えること	43.3	45.6	37.2
12	クルーズ船の寄港に対応する港湾施設の機能が強化され、クルーズ船による観光客が更にも増えること	38.6	45.1	37.5
10	各地域において、その地域の特徴を活かした観光誘客活動が行われていること	48.8	38.9	35.5
9	M I C Eを国内外から呼び込み、多くの方が沖縄を訪れていること	42.6	42.3	34.9
20	宿泊施設について客室単価の向上を図りながら、沖縄全体の宿泊供給量が増加していくこと	40.8	45.0	33.2
17	観光情報入手できる観光案内所や観光案内板等が多言語対応で整備されていること	45.0	36.6	32.5
24	県民がホスピタリティ(人への直接的なもてなしの精神のみならず、町の清掃活動等も含む)にあふれていること	39.8	38.5	31.0
34	直行便が就航している東アジア地域(台湾、韓国、中国本土、香港)の誘客を拡大すること	31.8	39.0	32.5
13	クルーズ船の寄港先が分散され、バス、タクシー等が一部地域に集中することによる負荷の低減や、観光地の分散化等が図られていること	35.3	39.3	30.8
18	観光客が無料W i - F iに接続出来る環境があること	35.9	33.2	31.8
28	外国人観光客の県内消費額を向上するため、日本ブランドの魅力を活かした商品・サービスが増えること	36.5	35.5	29.6
22	観光従事者一人ひとりが沖縄観光を代表する存在として、観光客に責任を持って対応できていること	35.5	35.8	29.3
23	今後の沖縄観光の持続的な振興を担う高度な経営人材を育成し、多様化・高度化する観光客のニーズに対応できていること	37.8	34.4	26.6
21	外国人観光客への対応能力を向上するため、外国語に長けた人材や語学方など専門的な知識や技術を有する外国人が観光産業に従事していること	34.5	37.5	25.8
29	観光客の県内消費額を向上するため、滞在日数が向上するような取組を実施すること	34.5	33.0	26.5
30	年間を通して観光収入を安定的に確保するため、閑散期の誘客に取り組むこと	33.0	34.6	25.5
25	高齢であることや障害の有無などにかかわらず、県民、観光客誰もが快適に過ごせる環境が整っていること	34.6	32.0	25.7
36	旅行市場が成熟し長期滞在が期待できる欧米等のリゾート需要を取り込むこと	34.2	31.9	25.6
35	一部直行便が就航した東南アジア地域(タイ、シンガポール、マレーシア、インドネシア、フィリピン、ベトナム等)からの航空路線の安定化と拡充に積極的に取り組み、誘客を強化すること	27.6	31.2	26.9
32	国内の沖縄旅行未経験者の誘客に取り組むこと	29.6	35.0	25.4
40	観光産業がもたらす県経済への波及効果などを県民にわかり易く発信し、観光の意義や効果について県民の理解を促進すること	30.0	32.6	25.1
37	沖縄の優位性を活かし、競合地との差別化を図るため、沖縄観光ブランド「Be.Okinawa」を国内外に発信すること	27.5	33.4	25.2
42	入域観光客数の目標設定など、客観指標に基づいた政策決定が行われていること	27.7	31.1	25.6
38	海外市場において効果的な誘客活動を行うため、海外メディアやウェブサイト・SNS等を通じた情報発信、ロケ作品を通じたプロモーション、海外事務所と連携した誘客活動等に取り組むこと	27.1	33.5	24.6
41	次世代を担う県内の児童生徒に対し観光産業の重要性について理解を深めること	29.9	33.4	23.7
31	沖縄観光の高度化、国際化等の変化に対応するため、これまで以上にきめ細かいデータの収集と分析について取り組むこと	31.2	32.1	23.6
33	国内外の富裕層の誘客に取り組むこと	28.1	29.4	24.7
39	観光関係者間、地域間、他分野間などの協働の場づくりを推進すること	31.4	32.7	22.9
15	県民や観光客が渋滞に巻き込まれずに目的地まで円滑に移動できること	30.8	28.6	21.9
26	地震、津波等大規模災害や根拠の乏しい情報を起因とする風評被害への対応方針が整っていること	28.4	27.1	21.9
16	観光客が、不慣れな道路環境等の理由によるレンタカーでの交通事故発生等のトラブル防止の対策がとられていること	27.3	25.3	21.6

図表 4-3-2 沖縄観光の各施策の重要度と達成度の関係性(前回調査からの変化)



図表 4-3-3 沖縄観光の各施策の重要度と達成度の関係性（経年変化 ※一部項目のみ抜粋）



5. 観光客来訪による影響

(1) 観光客が訪れることによる影響

Q3 観光客が訪れることで、あなたの生活にどのような影響があると感じていますか。

- 観光客が訪れることによる影響としては、「地域産業が発展する」が 41.0%で 1 位となった。前回調査と比較すると、「混雑により、交通が不便になる」は 7.0 ポイント増の 39.1%、「コンビニやスーパーが混雑し買物に支障がでる」は 2.1 ポイント増の 15.6%となり、一部のマイナスの影響について増加がみられる。
- 地域別でみると、“北部”“宮古”以外では「地域産業が発展する」が 1 位であった。特に“八重山”で高く 45.5%が回答している。“宮古”では、「騒音やゴミの増加等により、生活環境が悪化する」が最も多く 40.4%が回答している。「混雑により、交通が不便になる」はいずれの地域においても高いが、特に“北部”では 47.1%と最も多く回答している。
- 性別にみると、男女間で傾向に大きな差はみられないが、“男性”のほうが「仕事が増える」「給料が増える」と回答した割合が高かった。
- 年代別では、20 代以降は年代が上昇するにつれて「仕事が増える」が減少する傾向にある。
- 観光客と接する機会別では、“日常生活のコミュニケーション”で接する人は「地域産業が発展する」が高く、“日常業務の一環”で接する人は「仕事が増える」が高い。“機会なし”の人は 24.8%が「特に影響はない」としている。
- 観光発展への期待別では、“期待する派”は「地域産業が発展する」が特に高く約半数が回答している。“期待しない派”は「混雑により、交通が不便になる」「騒音やゴミの増加等により、生活環境が悪化する」「コンビニやスーパーが混雑し買物に支障がでる」「治安が悪化する」などマイナスの影響を懸念する人が多い。

図表 5-1-1 観光客が訪れることによる影響【複数回答】※1



※1：一部の選択肢は2021年度調査で新設されたものであるため、2019年度の結果は表示されない。
 ※2：2019年度までの調査票では「地域経済、雇用、地域産業が促進される」と表現されていた。
 ※3：2019年度までの調査票では「バスや自家用車の混雑等により、交通が不便になる」と表現されていた。
 ※4：2019年度までの調査票では「市民が活躍する場が増加する」と表現されていた。
 ※5：2019年度までの調査票では「自然資源や文化資源に悪影響が出る」と表現されていた。
 ※6：2019年度までの調査票では「文化資源や自然資源が保存・継承される」と表現されていた。
 ※7：「その他」の自由記述で挙げられた内容：感染症の持ち込み／交通事故やルール違反が増える など

図表 5-1-2 観光客が訪れることによる影響（地域別）【複数回答】

2022年度 (％)

	北部	中部	那覇市	南部	宮古	八重山
地域産業が発展する	37.4	41.3	41.8	42.8	27.8	45.5
混雑により、交通が不便になる	47.1	40.1	36.8	37.6	37.0	31.5
インフラ（道路、施設等）が整備される	18.4	25.6	25.4	26.1	21.2	19.2
人的・文化的交流が促進される	15.3	26.2	26.2	21.1	20.1	21.4
騒音やゴミの増加等により、生活環境が悪化する	30.2	19.5	18.5	18.4	40.4	28.2
仕事が増える	21.9	17.1	24.1	18.4	14.7	36.1
地域住民が活躍する場が増加する	13.2	20.1	18.3	16.4	13.4	23.2
コンビニやスーパーが混雑し買物に支障がでる	32.5	12.2	12.3	13.2	36.0	26.6
治安が悪化する	17.8	14.6	12.1	10.5	15.5	21.1
地域の文化や自然に悪影響が出る	10.3	11.8	11.2	11.8	18.5	27.1
地域の文化や自然が保存・継承される	8.0	13.9	11.3	11.0	12.5	10.4
誇りにつながる	9.0	10.9	11.1	9.4	3.2	8.6
物価が上昇する	7.8	10.1	11.4	8.0	14.8	9.4
街並みや景観が損なわれる	15.4	7.9	10.3	7.2	25.4	15.7
給料が増える	8.7	8.0	10.4	7.7	1.8	21.2
その他	0.0	0.7	0.7	1.2	0.9	0.0
特に影響はない	19.4	17.3	21.0	24.7	21.6	14.3
無回答	0.0	1.4	0.4	1.4	1.2	0.0

2021年度 (％)

	北部	中部	那覇市	南部	宮古	八重山
地域産業が発展する	37.5	41.5	42.8	39.4	24.1	57.2
混雑により、交通が不便になる	28.0	33.7	33.9	29.0	30.3	30.4
人的・文化的交流が促進される	17.2	25.0	27.3	23.5	27.0	26.9
インフラ（道路、施設等）が整備される	18.6	23.8	22.8	26.6	41.3	22.4
騒音やゴミの増加等により、生活環境が悪化する	15.5	20.6	21.9	17.3	23.9	28.7
地域住民が活躍する場が増加する	14.2	21.6	20.5	18.1	9.5	24.9
仕事が増える	27.6	20.5	16.8	13.9	15.7	27.0
地域の文化や自然が保存・継承される	11.8	13.7	14.5	12.5	27.8	11.2
治安が悪化する	10.3	12.3	14.2	8.3	43.0	31.6
地域の文化や自然に悪影響が出る	12.4	13.1	14.1	9.4	30.2	22.5
コンビニやスーパーが混雑し買物に支障がでる	16.4	12.5	14.5	10.4	23.0	18.3
誇りにつながる	9.8	12.8	10.2	7.7	2.4	16.7
物価が上昇する	6.0	10.9	10.9	6.3	23.6	15.5
街並みや景観が損なわれる	9.2	9.6	8.3	7.9	24.9	16.8
給料が増える	10.2	8.0	6.9	8.1	2.9	18.2
その他	1.2	1.3	0.3	0.3	1.7	0.0
特に影響はない	27.2	24.3	23.5	31.5	11.5	12.4
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

図表 5-1-3 観光客が訪れることによる影響（性別）【複数回答】

(％)

	男性	女性
地域産業が発展する	39.2	42.8
混雑により、交通が不便になる	39.1	39.2
インフラ（道路、施設等）が整備される	25.0	24.3
人的・文化的交流が促進される	23.4	24.5
騒音やゴミの増加等により、生活環境が悪化する	19.9	22.4
仕事が増える	23.2	17.0
地域住民が活躍する場が増加する	18.4	18.3
コンビニやスーパーが混雑し買物に支障がでる	15.0	16.1
治安が悪化する	14.1	13.8
地域の文化や自然に悪影響が出る	12.4	12.4
地域の文化や自然が保存・継承される	10.2	14.1
誇りにつながる	8.7	11.8
物価が上昇する	11.4	8.1
街並みや景観が損なわれる	9.8	9.9
給料が増える	11.3	6.6
その他	0.7	0.8
特に影響はない	20.8	18.4
無回答	0.7	0.9

図表 5-1-4 観光客が訪れることによる影響（年代別）【複数回答】

	(%)						
	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代
地域産業が発展する	35.3	34.5	39.2	44.6	42.9	45.6	40.7
混雑により、交通が不便になる	7.3	35.0	41.7	47.9	38.7	40.8	32.3
インフラ（道路、施設等）が整備される	28.0	18.1	22.8	30.1	26.2	25.4	27.2
人的・文化的交流が促進される	23.2	23.5	23.6	22.5	21.5	24.4	35.1
騒音やゴミの増加等により、生活環境が悪化する	14.6	10.8	19.3	27.8	22.0	24.9	26.7
仕事が増える	14.6	24.4	24.1	22.6	19.6	16.0	8.1
地域住民が活躍する場が増加する	32.5	14.6	18.7	16.7	19.7	19.2	21.0
コンビニやスーパーが混雑し買物に支障がでる	0.0	9.7	19.4	21.3	16.3	16.1	11.9
治安が悪化する	7.3	8.7	10.8	16.8	15.6	17.7	15.9
地域の文化や自然に悪影響が出る	0.0	10.6	9.1	15.3	12.9	15.2	11.8
地域の文化や自然が保存・継承される	28.0	9.6	9.4	10.9	10.3	15.4	20.9
誇りにつながる	8.6	17.0	9.8	7.7	8.4	7.8	12.6
物価が上昇する	0.0	5.3	8.9	10.7	12.5	12.8	11.9
街並みや景観が損なわれる	0.0	4.5	7.1	14.8	10.1	13.1	12.8
給料が増える	20.0	13.3	12.2	8.5	6.9	6.2	1.0
その他	0.0	0.0	1.1	0.5	1.0	1.2	0.3
特に影響はない	24.6	19.0	22.7	15.3	21.0	17.7	20.1
無回答	12.7	0.0	0.0	0.1	0.3	0.6	5.7

図表 5-1-5 観光客が訪れることによる影響（観光客と接する機会別）【複数回答】

	(%)		
	日常業務の一環	日常生活のコミュニケーション	機会なし
地域産業が発展する	28.1	55.0	40.4
混雑により、交通が不便になる	36.5	40.4	39.8
インフラ（道路、施設等）が整備される	13.4	31.5	25.6
人的・文化的交流が促進される	21.5	36.4	21.0
騒音やゴミの増加等により、生活環境が悪化する	21.7	23.4	20.5
仕事が増える	52.8	21.6	12.5
地域住民が活躍する場が増加する	18.5	25.8	16.4
コンビニやスーパーが混雑し買物に支障がでる	15.2	17.4	15.3
治安が悪化する	13.0	16.4	13.5
地域の文化や自然に悪影響が出る	9.7	19.6	10.9
地域の文化や自然が保存・継承される	9.8	15.8	11.7
誇りにつながる	7.7	13.9	9.8
物価が上昇する	8.0	16.1	8.7
街並みや景観が損なわれる	10.4	11.8	9.2
給料が増える	27.2	7.1	5.4
その他	0.6	0.7	0.7
特に影響はない	11.1	9.1	24.8
無回答	0.0	0.0	0.2

図表 5-1-6 観光客が訪れることによる影響（観光発展への期待別）【複数回答】

	(%)		
	観光発展を期待する派	どちらともいえない	観光発展を期待しない派
地域産業が発展する	47.4	20.4	13.3
混雑により、交通が不便になる	38.6	35.2	58.6
インフラ（道路、施設等）が整備される	28.1	12.8	10.6
人的・文化的交流が促進される	27.7	12.1	7.5
騒音やゴミの増加等により、生活環境が悪化する	18.9	24.9	40.6
仕事が増える	22.3	12.5	11.3
地域住民が活躍する場が増加する	22.0	4.6	5.0
コンビニやスーパーが混雑し買物に支障がでる	13.9	14.9	39.7
治安が悪化する	11.9	17.4	30.4
地域の文化や自然に悪影響が出る	10.8	14.2	27.3
地域の文化や自然が保存・継承される	13.8	5.1	5.6
誇りにつながる	12.4	2.0	1.5
物価が上昇する	9.3	9.9	18.2
街並みや景観が損なわれる	8.0	11.7	28.7
給料が増える	9.9	5.8	3.6
その他	0.6	0.8	1.9
特に影響はない	17.0	34.7	16.3
無回答	0.9	0.4	0.0

6. 観光税の導入に対する意識

(1) 観光税を導入した場合の活用方法

Q15 沖縄県では観光を振興するため観光目的税の導入を検討していますが、導入した場合どのような目的に活用した方が良いと思いますか。

- 観光税の活用方法としては前回調査に引き続き「海などの自然環境の保全」が 69.3%と最も多かった。次いで「ゴミ処理」57.7%、「道路や公共トイレなど観光客も利用する公共施設の美化整備」56.4%と続く。自然環境保全や環境美化への活用が多く望まれている。前回調査と比べて大きな変化はみられない。
- 地域別でみると、地域間で順位に大きな差はみられないが、「海などの自然環境の保全」「ゴミ処理」「道路や公共トイレなど観光客も利用する公共施設の美化整備」などの上位項目は特に“八重山”で選択率が高い傾向にある。
- 性別でみると、順位に大きな差はみられないが、上位項目は“女性”の選択率が高い傾向にある。
- 年代別でみると、全体的に年代が上昇するにつれて選択率が高くなる傾向にある。
- 観光発展への期待別でみると、多くの項目で“観光発展を期待する派”の選択率が高い傾向にある。

図表 6-1-1 観光税を導入した場合の活用方法【複数回答】



※1:「その他」の自由記述で挙げられた内容: 県民への還元/貧困家庭の支援/道路の草刈り/鉄道インフラ整備 など

図表 6-1-2 観光税を導入した場合の活用方法（地域別）【複数回答】

	(%)					
	北部	中部	那覇市	南部	宮古	八重山
海などの自然環境の保全	66.2	69.0	69.5	70.3	64.4	79.5
ゴミ処理	52.5	56.4	55.0	60.0	67.6	79.0
道路や公共トイレなど観光客も利用する公共施設の美化整備	52.4	55.4	57.0	56.4	60.3	69.2
観光パトロール	37.8	39.9	38.8	33.6	47.5	51.4
観光施設等のバリアフリー化	27.0	32.2	29.9	26.8	41.9	31.9
ホスピタリティの向上・人材育成	21.8	25.4	27.7	27.3	30.1	34.6
案内表示や情報発信等における多言語対応の強化	19.9	25.0	27.6	20.7	26.8	29.4
観光客が手軽に情報を入手できる情報通信の環境整備	16.3	24.5	25.1	22.9	14.5	27.1
観光バス等の駐車場の整備	15.5	23.9	25.6	20.3	26.1	29.4
宿泊・観光施設の整備	12.9	21.2	21.9	19.8	10.6	26.2
観光案内機能の充実	9.6	19.5	17.7	18.6	17.5	26.0
観光メニューづくり	11.6	16.3	17.4	13.0	8.0	19.1
誘客プロモーション	7.7	14.3	15.2	9.7	4.6	17.1
その他	2.8	1.3	2.0	1.0	4.4	2.4
特になし	10.8	8.7	11.2	10.8	10.4	4.4
無回答	0.0	0.5	0.2	0.0	0.7	0.0

図表 6-1-3 観光税を導入した場合の活用方法（性別）【複数回答】

	(%)	
	男性	女性
海などの自然環境の保全	68.3	70.5
ゴミ処理	54.9	61.0
道路や公共トイレなど観光客も利用する公共施設の美化整備	53.1	59.9
観光パトロール	34.5	43.8
観光施設等のバリアフリー化	27.7	33.5
ホスピタリティの向上・人材育成	23.0	30.3
案内表示や情報発信等における多言語対応の強化	23.2	26.1
観光客が手軽に情報を入手できる情報通信の環境整備	23.6	23.3
観光バス等の駐車場の整備	24.3	22.2
宿泊・観光施設の整備	19.6	20.8
観光案内機能の充実	17.4	19.3
観光メニューづくり	15.5	15.2
誘客プロモーション	14.8	11.0
その他	2.1	1.3
特になし	11.8	7.5
無回答	0.1	0.1

図表 6-1-4 観光税を導入した場合の活用方法（年代別）【複数回答】

	(%)						
	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代
海などの自然環境の保全	92.7	70.7	57.6	64.6	68.4	76.1	83.3
ゴミ処理	42.6	55.6	53.3	57.6	60.7	60.6	67.6
道路や公共トイレなど観光客も利用する公共施設の美化整備	46.0	54.5	44.3	54.9	58.4	61.7	76.6
観光パトロール	43.2	32.6	41.1	37.6	41.2	40.9	47.6
観光施設等のバリアフリー化	15.9	28.9	25.1	28.1	32.9	35.9	39.2
ホスピタリティの向上・人材育成	25.2	25.3	17.8	24.1	27.2	32.1	39.5
案内表示や情報発信等における多言語対応の強化	25.2	22.0	19.0	22.2	23.8	28.7	39.0
観光客が手軽に情報を入手できる情報通信の環境整備	8.6	17.5	19.1	20.1	24.4	28.5	43.3
観光バス等の駐車場の整備	15.9	20.8	17.7	22.0	27.8	22.9	33.1
宿泊・観光施設の整備	15.9	25.8	16.4	17.9	18.3	19.2	27.2
観光案内機能の充実	15.9	16.5	11.9	15.0	16.1	23.9	36.2
観光メニューづくり	15.9	17.7	10.4	15.4	14.8	15.4	19.4
誘客プロモーション	8.6	12.1	11.1	12.5	12.3	14.0	15.5
その他	0.0	0.0	2.3	2.9	2.8	0.3	3.2
特になし	7.3	11.2	13.1	11.8	8.6	6.9	3.8
無回答	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	0.0	1.0

図表 6-1-5 観光税を導入した場合の活用方法（観光客と接する機会別）【複数回答】

	(%)		
	日常業務の一環	日常生活のコミュニケーション	機会なし
海などの自然環境の保全	61.6	74.5	69.3
ゴミ処理	47.4	59.9	59.6
道路や公共トイレなど観光客も利用する公共施設の美化整備	50.9	65.0	54.8
観光パトロール	35.6	40.6	39.2
観光施設等のバリアフリー化	24.0	40.8	29.2
ホスピタリティの向上・人材育成	24.9	32.5	24.9
案内表示や情報発信等における多言語対応の強化	21.2	28.3	24.4
観光客が手軽に情報を入手できる情報通信の環境整備	17.5	28.1	22.9
観光バス等の駐車場の整備	18.8	30.5	22.0
宿泊・観光施設の整備	18.7	28.1	18.2
観光案内機能の充実	14.3	24.9	16.9
観光メニューづくり	15.3	19.1	14.3
誘客プロモーション	9.7	16.9	12.5
その他	0.9	3.0	1.5
特になし	16.6	2.7	10.3
無回答	0.0	0.0	0.1

図表 6-1-6 観光税を導入した場合の活用方法（観光発展への期待別）【複数回答】

	(%)		
	観光発展を期待する派	どちらともいえない	観光発展を期待しない派
海などの自然環境の保全	73.9	51.0	61.0
ゴミ処理	60.7	45.1	54.9
道路や公共トイレなど観光客も利用する公共施設の美化整備	61.1	39.7	44.6
観光パトロール	39.8	32.8	48.5
観光施設等のバリアフリー化	33.9	19.8	20.9
ホスピタリティの向上・人材育成	29.7	15.9	13.1
案内表示や情報発信等における多言語対応の強化	27.6	13.7	15.5
観光客が手軽に情報を入手できる情報通信の環境整備	26.4	13.2	13.9
観光バス等の駐車場の整備	25.5	14.6	18.5
宿泊・観光施設の整備	22.4	12.0	15.1
観光案内機能の充実	21.0	7.9	12.4
観光メニューづくり	18.0	6.9	6.0
誘客プロモーション	14.8	6.1	7.5
その他	1.4	2.8	2.3
特になし	5.3	27.4	19.5
無回答	0.0	0.0	0.0

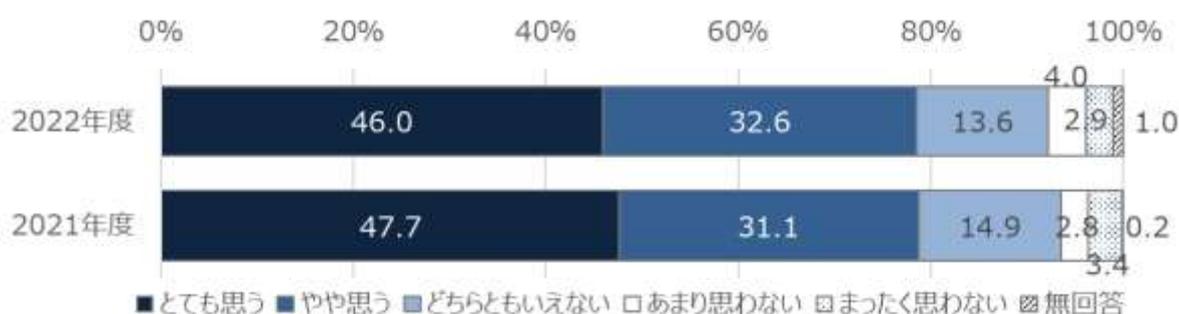
7. コロナ収束後の観光に対する意識

(1) コロナ収束後における観光推進の重要度

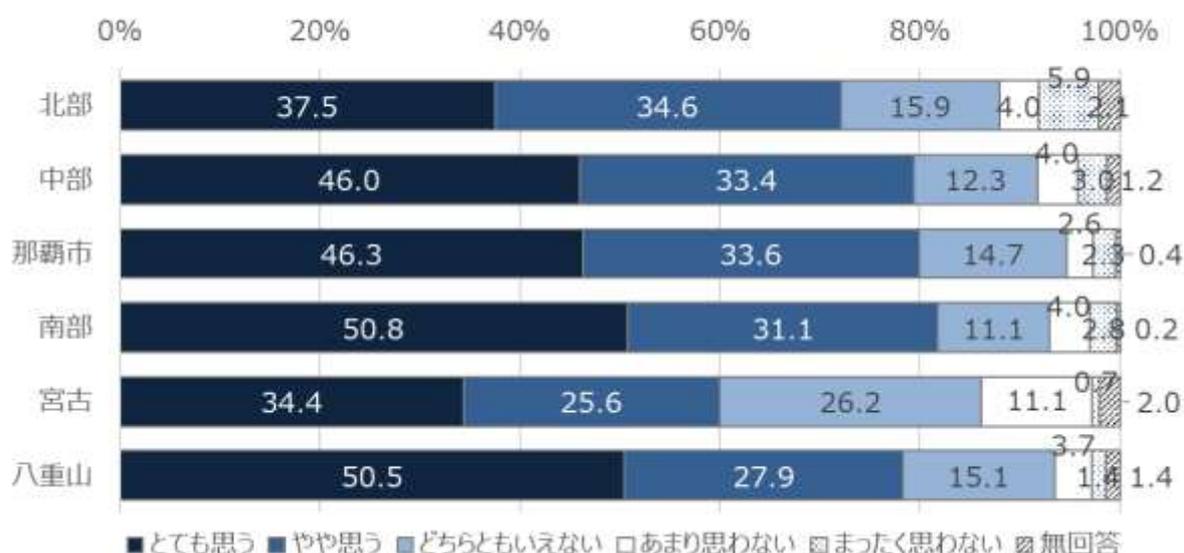
Q11-1 新型コロナウイルスのワクチンや経口治療薬が十分に普及し、コロナ禍が一定の収束をした後の時期において、沖縄観光を推進していくことは重要だと思いますか。

- コロナ収束後の観光推進の重要度については、78.6%（とても思う+やや思う）が重要であると認識している。
- 地域別でみると、“中部”、“那覇市”、“南部”、“八重山”では「とても思う」「やや思う」を合わせて8割程度と他の地域よりやや高い。
- 性別でみると、男女間で傾向に大きな差はみられない。
- 年代別でみると、“40代”で重要度がやや低くなる傾向にある。
- 観光客と接する機会別でみると、“日常生活のコミュニケーションで接する”人は重要度が高い傾向にある。

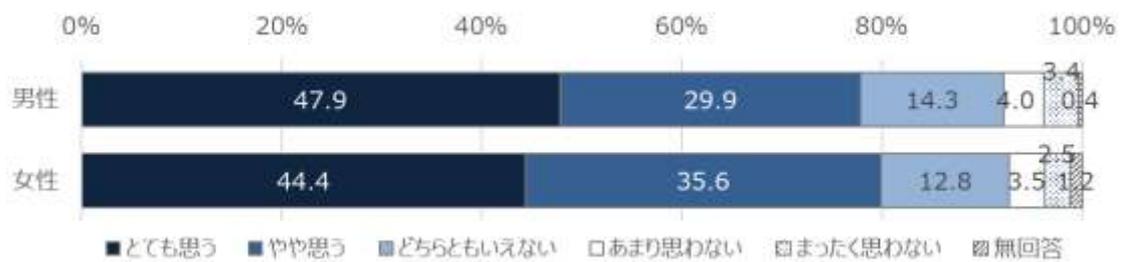
図表 7-1-1 コロナ収束後の観光推進の重要度



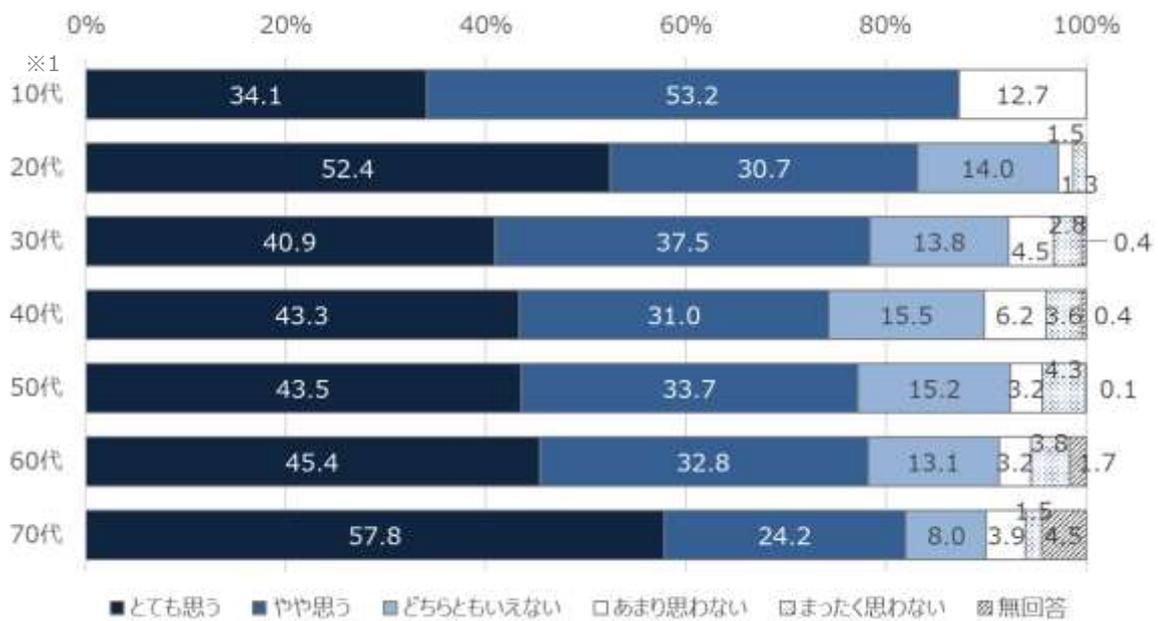
図表 7-1-2 コロナ収束後の観光推進の重要度（地域別）



図表 7-1-3 コロナ収束後の観光推進の重要度（性別）



図表 7-1-4 コロナ収束後の観光推進の重要度（年代別）



※1：“10代”は回答数が少ないため注意。

図表 7-1-5 コロナ収束後の観光推進の重要度（観光客と接する機会別）

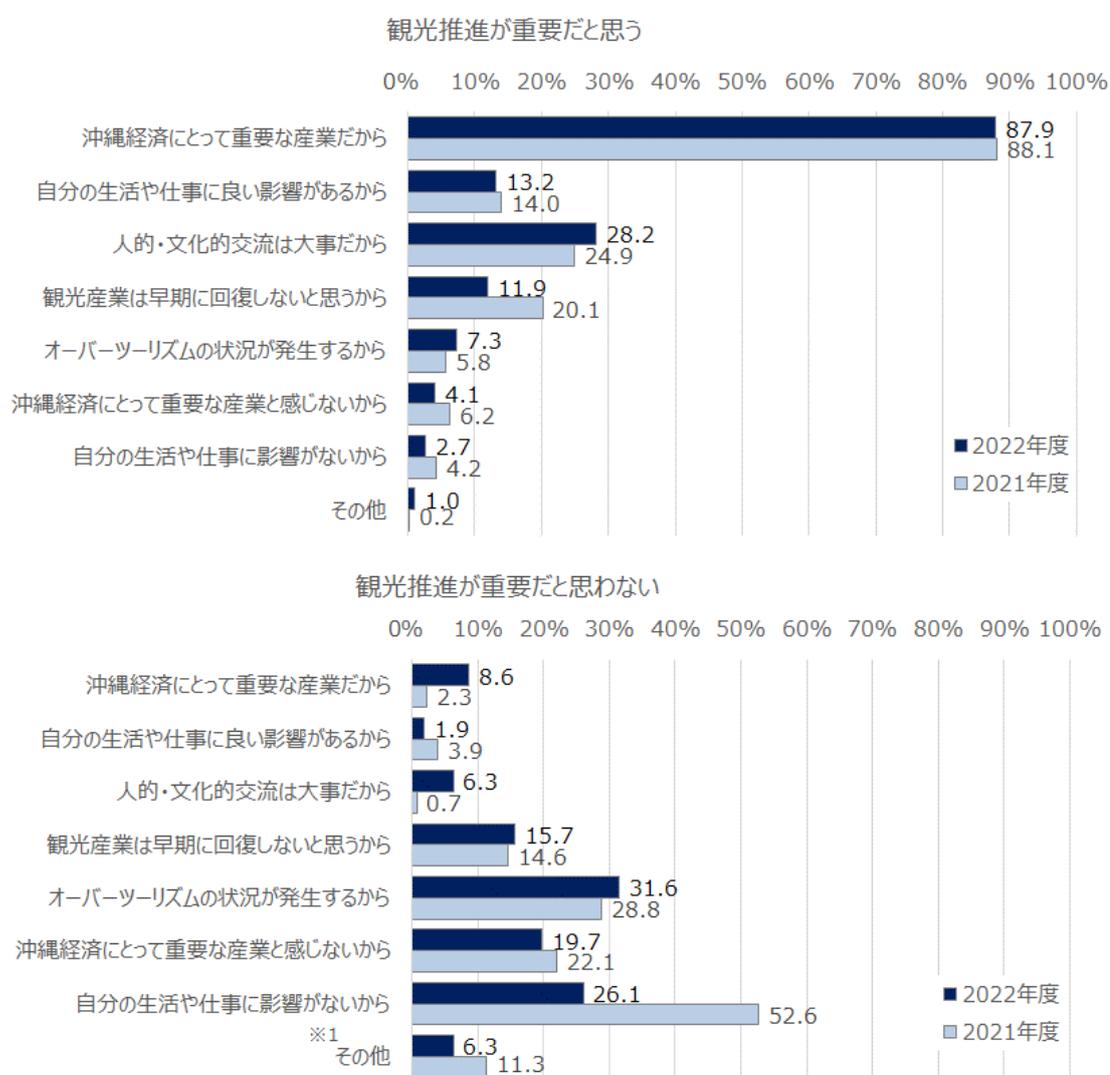


(2) コロナ収束後における観光推進の重要度の理由

Q11-2 コロナ収束後における観光推進の重要度を選択した理由としてあてはまるものを選びください。

- コロナ収束後における観光推進の重要度について、その理由を尋ねたところ、観光推進が重要だと思う層（「とても思う」「やや思う」と回答）は、87.9%が「沖縄経済にとって重要な産業だから」を理由として挙げた。一方、観光推進が重要だと思わない層（「あまり思わない」「まったく思わない」と回答）は、31.6%が「オーバーツーリズムの状況が発生するから」、26.1%が「自分の生活や仕事に影響がないから」を理由として挙げた。前回調査と比べると「自分の生活や仕事に影響がないから」が大きく減少した。

図表 7-2-1 コロナ収束後における観光推進の重要度の理由【複数回答】



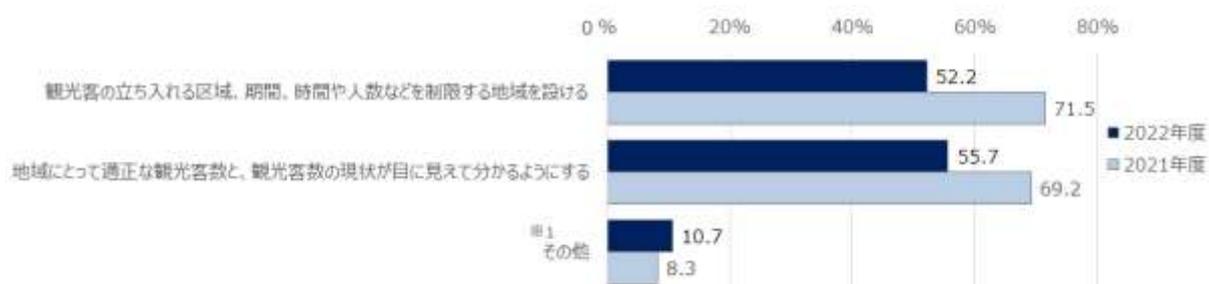
※1:「その他」の自由記述で挙げられた内容：観光に頼るべきではないから など

(3) 「オーバーツーリズム」に関する対応

Q11-3 あなたがお住まいの地域や沖縄県で発生すると思われる「オーバーツーリズム」に関する対応とはどのようなものが考えられますか。(コロナ収束後における観光推進の重要度の理由について「オーバーツーリズムの状況が発生するから」と回答した人のみ)

- コロナ収束後における観光推進の重要度の理由について「オーバーツーリズムの状況が発生するから」と回答した人に、考えられる対策について尋ねたところ、「地域にとって適正な観光客数と、観光客数の現状が目に見えて分かるようにする」が55.7%、「観光客の立ち入れる区域、期間、時間や人数などを制限する地域を設ける」が52.2%となった。前回調査と比べると、いずれも減少している。

図表 7-3-1 「オーバーツーリズム」に関する対応【複数回答】



※1:「その他」の自由記述で挙げられた内容:交通インフラ整備/レンタカーの制限/観光税・入島税の導入 など

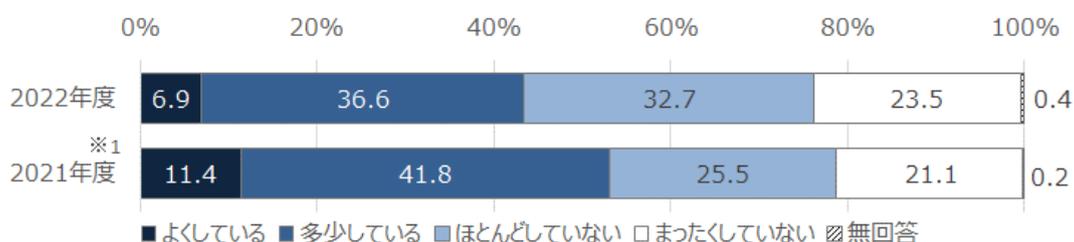
8. 持続可能な観光に対する意識

(1) 持続可能な観光の推進に関わる自身の活動

Q16 沖縄県では、観光を通じて自然や生物の保全、地域文化の保存・継承、地域経済への貢献をバランスよく実現する「持続可能な観光」を推進しています。あなたは、こうした「持続可能な観光」の推進に関わるような活動をしていますか。

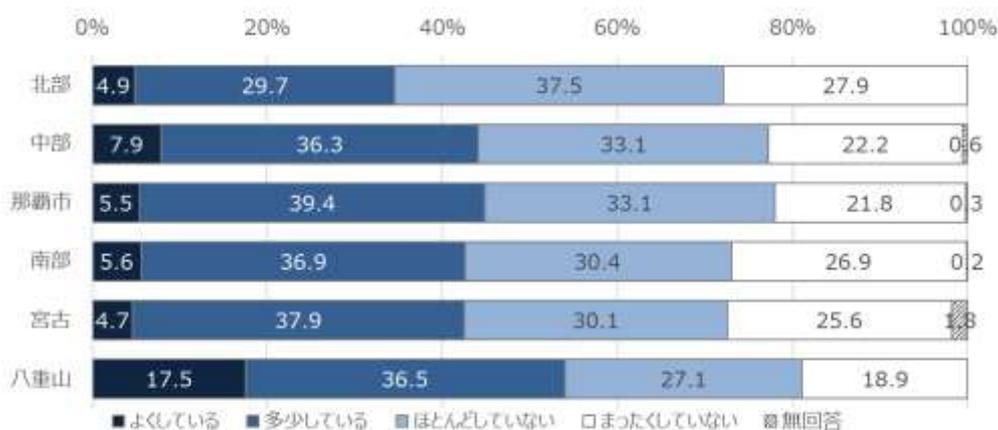
- 回答者自身の「持続可能な観光」の推進に関わるような活動については、「よくしている」「多少している」を合わせて43.5%が活動していると回答した。前回の調査からは9.7%の減少となった。
- 地域別で見ると、“八重山”では、「よくしている」「多少している」を合わせて5割以上と他の地域より高い。
- 性別で見ると、“女性”の方が活動をしている傾向にある。
- 年代別で見ると、若年層の方が活動をしている比率が高い傾向にある。
- 観光客と接する機会別で見ると、“日常生活のコミュニケーション”で接する人は活動をしている比率が高い傾向にある。観光客と接する“機会がない人”では、活動をしている比率は4割以下に留まる。

図表 8-1-1 持続可能な観光の推進に関わるような活動をしているか

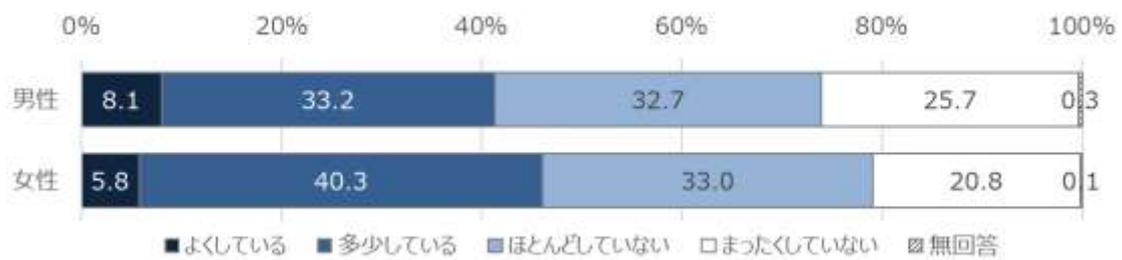


※1：2022年度調査より調査票における「持続可能な観光の推進に関わるような活動の例」を変更しているため、2021年度調査の結果と単純に比較することはできない。

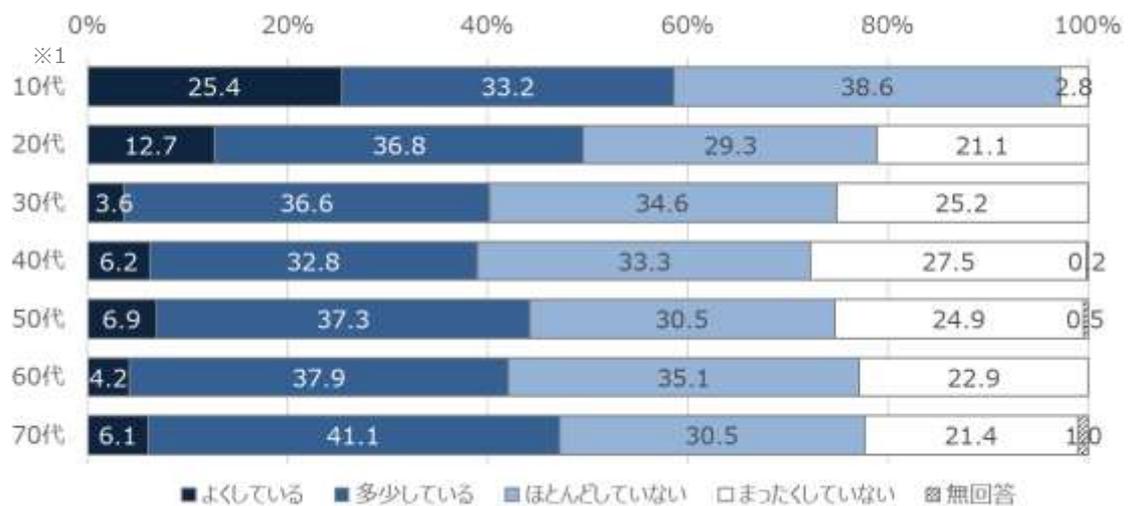
図表 8-1-2 持続可能な観光の推進に関わるような活動をしているか（地域別）



図表 8-1-3 持続可能な観光の推進に関わるような活動をしているか（性別）

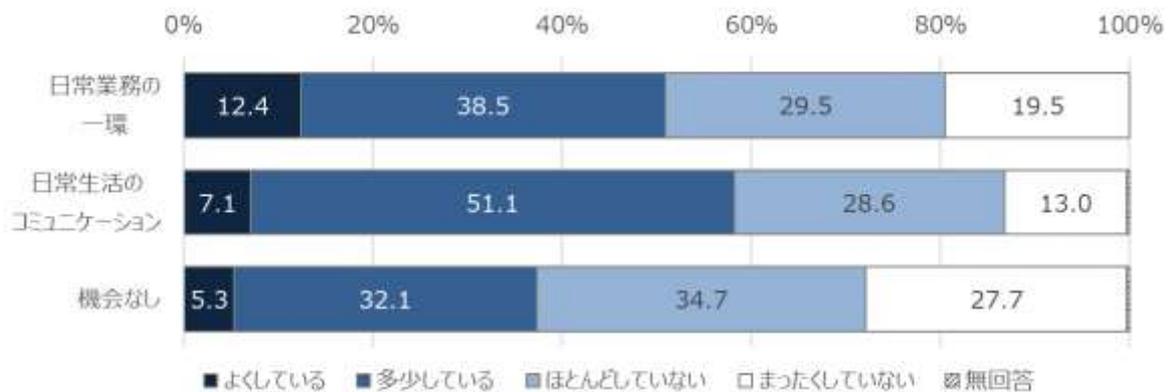


図表 8-1-4 持続可能な観光の推進に関わるような活動をしているか（年代別）



※1：“10代”は回答数が少ないため注意。

図表 8-1-5 持続可能な観光の推進に関わるような活動をしているか（観光客と接する機会別）

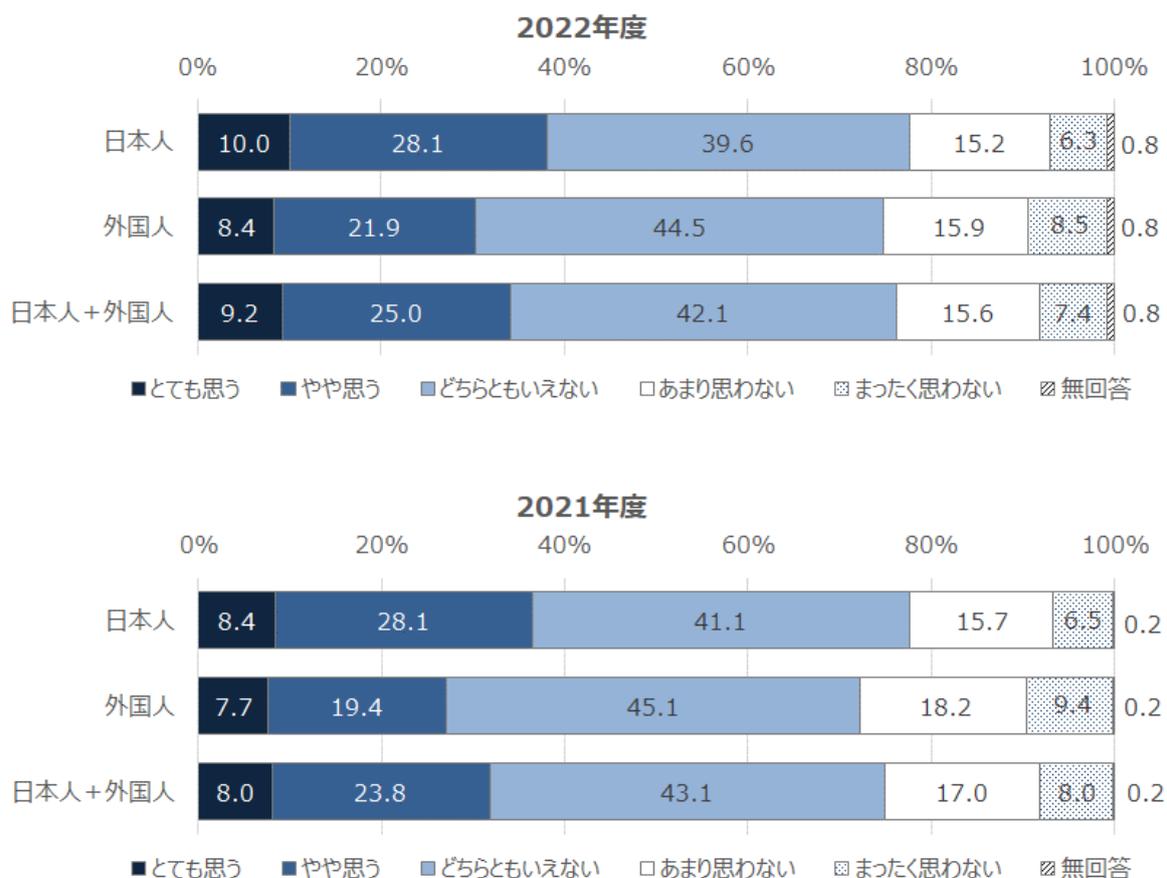


(2) 観光客の行動に対する評価

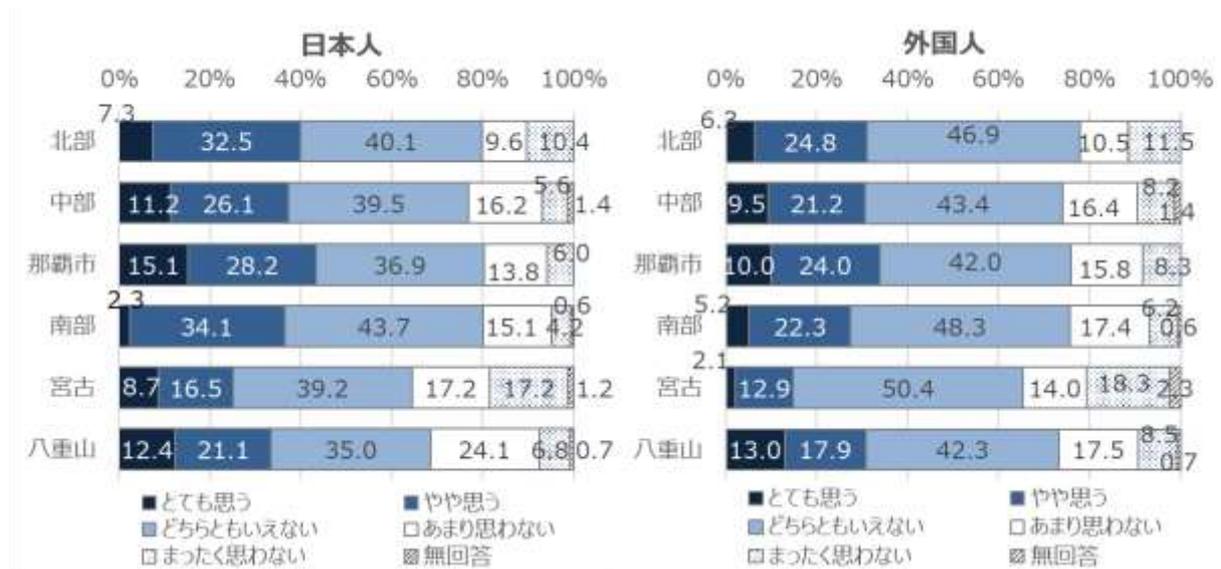
Q17 沖縄県を訪れる観光客は、地域の人々の生活を尊重し、沖縄の自然や文化に敬意を有した旅行者としての行動ができていますか。

- 沖縄県を訪れる日本人観光客と外国人観光客について、地域の人々の生活を尊重し、沖縄の自然や文化に敬意を有した旅行者としての行動ができていますか尋ねたところ、「とても思う」「やや思う」を合わせると、日本人に対しては38.1%、外国人に対しては30.3%、日本人と外国人を合算すると34.2%が行動できていると評価している。
- 地域別でみると、日本人の行動、外国人の行動ともに“宮古”における評価が低い。
- 性別でみると、日本人の行動、外国人の行動ともに“女性”の評価がやや低い。
- 年代別でみると、“20代”以降は、日本人の行動、外国人の行動ともに、年代が上昇するにつれて評価が低くなる傾向にある。
- 観光客と接する機会別でみると、“日常業務の一環”で接する人は日本人、外国人ともに、行動に対する評価がやや高い。

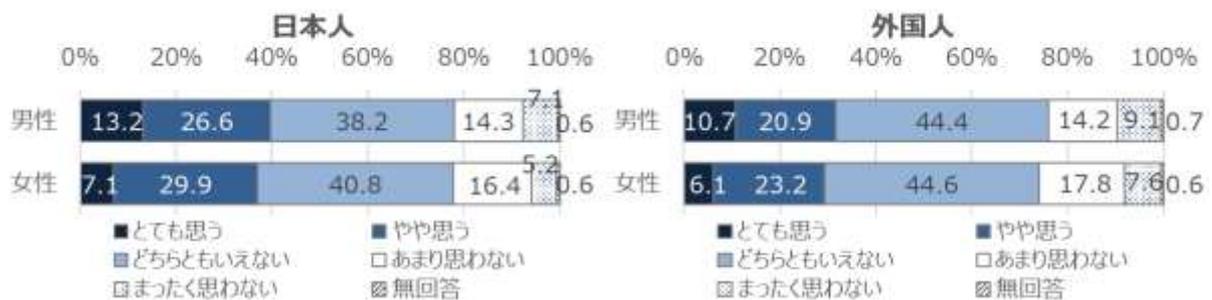
図表 8-2-1 観光客は地域の人々の生活を尊重し、沖縄の自然や文化に敬意を有した旅行者としての行動ができていますか



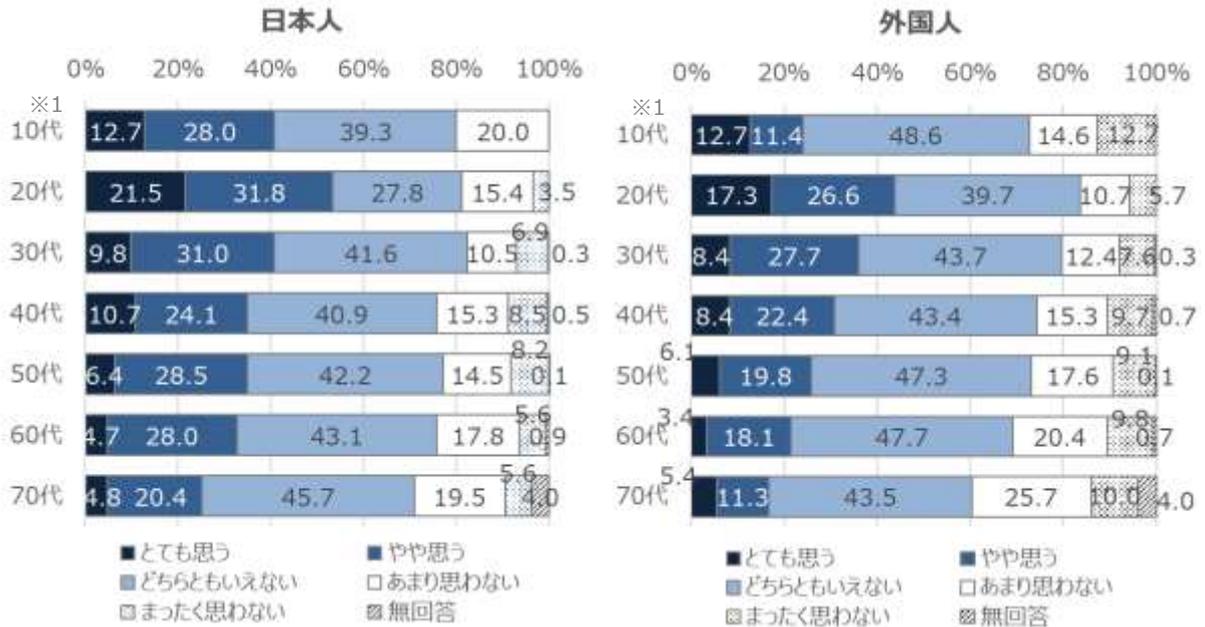
図表 8-2-2 観光客は地域の人々の生活を尊重し、沖縄の自然や文化に敬意を有した旅行者としての行動ができているか（地域別）



図表 8-2-3 観光客は地域の人々の生活を尊重し、沖縄の自然や文化に敬意を有した旅行者としての行動ができているか（性別）



図表 8-2-4 観光客は地域の人々の生活を尊重し、沖縄の自然や文化に敬意を有した旅行者としての行動ができているか（年代別）



※1：“10代”は回答数が少ないため注意。

図表 8-2-5 観光客は地域の人々の生活を尊重し、沖縄の自然や文化に敬意を有した旅行者としての行動ができているか（観光客と接する機会別）

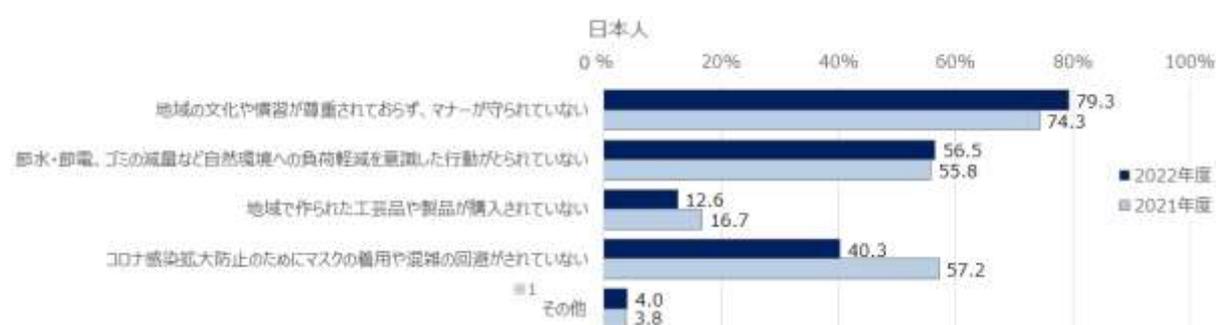


(3) 観光客の行動に対する評価の理由

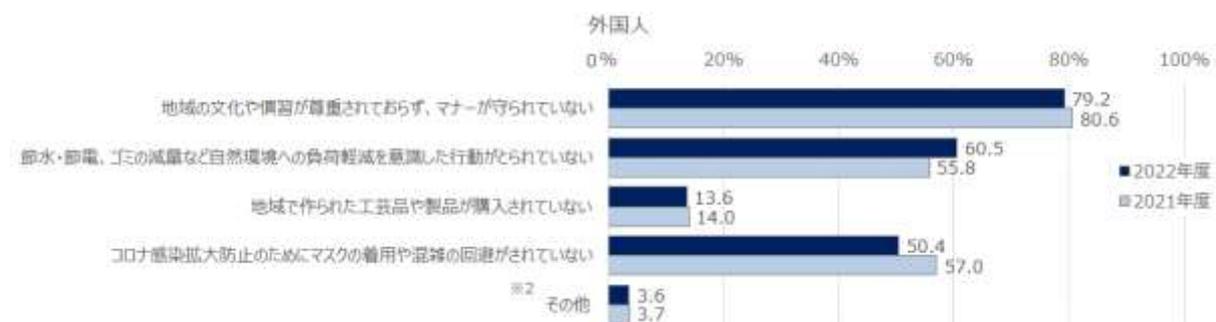
Q18 観光客の行動に対する評価が低い理由としてあてはまるものをお選びください。

- 観光客の行動に対する評価が低い（「あまり思わない」「まったく思わない」と回答）人に対してはその理由も尋ねた。日本人、外国人いずれに対しても、「地域の文化や慣習が尊重されておらず、マナーが守られていない」が最も高く、次いで「節水・節電、ゴミの減量など自然環境への負荷軽減を意識した行動がとられていない」「コロナ感染拡大防止のためにマスクの着用や混雑の回避がされていない」となった。前回調査と比べると、日本人に対する「コロナ感染拡大防止のためにマスクの着用や混雑の回避がされていない」が大きく減少した。

図表 8-3-1 （観光客の行動に対する評価が低い）理由としてあてはまるもの



※1: 「その他」の自由記述で挙げられた内容: 交通・運転マナーが悪い/差別している など



※2: 「その他」の自由記述で挙げられた内容: 交通・運転マナーが悪い/ごみのポイ捨てが多い/治安が悪くなる など

9. 将来の沖縄観光のあり方や観光行政に関する意見

Q19 将来の沖縄観光のあり方や、沖縄県の観光行政について、ご意見・ご要望がございましたらご自由にお書きください。

- 「交通」に関する意見が19.7%と最も多かった。特に「交通の便・公共交通」、「渋滞・混雑」への不満・改善策を望む声が多く寄せられた。次いで「自然・環境保全、活用」、「観光開発、施設・インフラ整備」、「観光発展・コロナ後の観光回復・復興」、「観光客のマナー」と続く。

図表 9-1-1 将来の沖縄観光のあり方や観光行政に関する意見【自由回答を分類】

	全体	北部	中部	那覇市	南部	宮古	八重山
交通	19.7	18.8	18.5	20.9	23.7	24.0	10.2
交通の便・公共交通	11.8	13.1	11.7	10.2	13.0	20.7	6.2
渋滞・混雑	7.5	8.1	6.2	8.4	10.5	10.2	2.6
レンタカー	4.8	0.0	3.3	6.9	9.5	3.3	4.0
モルルール	4.1	1.2	2.3	6.5	6.7	10.2	0.0
バス	3.9	0.0	3.3	3.8	6.2	10.2	4.8
ルール・マナー、事故対策	3.0	0.0	2.9	2.9	5.9	1.2	1.4
自然・環境保全、活用	13.1	27.6	10.7	13.3	10.6	16.9	12.4
観光開発、施設・インフラ整備	12.7	3.9	12.2	13.4	13.4	16.7	25.4
観光発展・コロナ後の観光回復・復興	6.2	8.5	5.5	4.8	9.9	3.6	6.3
観光客のマナー	6.2	9.4	7.1	4.0	5.7	8.0	2.7
環境美化・ゴミ処理	5.8	4.6	6.9	4.7	4.9	4.1	7.6
PR情報発信	5.3	4.7	5.8	3.1	6.0	7.0	8.9
観光への依存・観光以外の産業振興	4.0	0.0	4.1	3.3	6.4	5.9	4.0
開発の抑制、観光客の抑制	3.9	7.3	2.6	2.9	7.1	6.3	2.7
文化の継承・保全、活用	3.7	0.9	2.9	5.9	5.1	4.2	0.0
観光産業の待遇改善	3.6	4.5	4.4	2.6	3.4	0.0	1.4
人材育成・県民教育（語学力向上含む）	3.0	0.0	3.2	3.7	3.0	3.8	4.0
観光により経済発展・県民所得向上	2.7	3.8	2.2	4.4	2.1	1.2	0.0
コンテンツ、メニュー、商品開発	2.6	0.0	3.3	1.8	4.5	1.2	0.0
良好な景観	2.3	0.0	2.7	2.3	1.9	1.7	4.0
県内企業を優先すべき・県外企業が多い	2.2	2.2	1.5	2.5	3.9	3.0	1.4
治安、安心・安全	2.2	0.0	2.8	0.9	2.4	1.7	7.4
観光客の分散、特定層の誘客	2.1	3.8	1.1	1.0	4.9	4.4	3.2
県民生活とのバランス、配慮	2.0	0.0	1.0	2.2	1.4	13.3	7.9
おもてなし	1.9	0.0	1.6	0.8	4.4	4.4	3.5
オーバーツーリズム	1.8	0.0	1.6	0.8	2.7	2.8	9.2
案内板・案内	1.8	0.0	2.3	2.3	1.0	0.0	1.3
県民が楽しめる観光	1.6	0.0	0.8	1.9	5.5	0.0	0.0
イベント	1.6	2.2	2.2	1.5	0.0	0.0	1.3
受け入れ側の意識、マナー、行動	1.5	2.5	0.5	1.6	1.7	4.1	5.8
事業者支援	1.4	0.0	0.6	0.8	0.9	0.0	18.2
コロナ禍における観光	1.3	0.0	1.7	0.2	0.5	10.2	0.0
スポーツ	1.2	0.0	2.0	1.1	0.6	0.0	0.0
持続可能な観光	1.1	2.2	1.1	1.1	1.0	1.2	0.0
その他	31.2	22.9	32.6	33.8	25.4	36.6	35.1